

Hotels.com Hotel Price Index™

世界のホテル宿泊料金の調査 (2013年1月～6月)

日本版



はじめに

Hotels.com®のHotel Price Index™ (HPI®) (以下、HPI) は、世界の主要目的地のホテル宿泊料金に関して定期的に調査された報告書です。HPIはHotels.comを通して行われた予約に基づいており、表示されている料金は広告表示料金ではなく、旅行者が実際に支払った1泊1部屋あたりの宿泊料金です。

今年で10年目を迎えたHPIは、世界中で支払われたホテル宿泊料金に関する最も信頼のおける報告書として認められ、メディア、ホテル経営者、金融アナリスト、投資家、観光産業、研究者といった方々に参照ツールとして使われることも増えていきます。

HPIとは、世界中でHotels.comを利用した旅行者が実際に支払った1泊1部屋あたりの料金を、Hotels.comが1事業対象としている市場で販売された部屋数で加重平均した数値です。

Hotels.comの顧客数、取り扱う物件、対象とする目的地が世界的規模であるため、HPIは最も包括的なベンチマークのひとつとなりました。同指数には、チェーン系・独立系ホテルだけでなく、コンドミニアムやB&B (ベッド・アンド・ブレイクファースト) も含まれています。

今回は2013年上半期を2012年の同期の実績と比較検証します。Hotels.comのサイトのうち約15万件を超えるホテルをサンプルとして、その宿泊料金を使用しています。

最新版HPIの発行に あたり



経済の回復に伴い、ホテル価格も上昇しています。今年上半期、旅行者が支払うホテルの宿泊料金は2%増加しました。比較的低い上昇率ですが、2010年から続くなだらかな上昇は継続しています。Hotels.com Hotel Price Indexは、経済危機が起きる前の2006年レベルまで回復し、不景気だった7年が終わりました。豊かな7年が訪れるかどうかはまだ分かりませんが、報告書が示すように、観光需要の増加に伴い、ホテル価格が上がり始めた観光地があるのは確かです。

米国による主導

米国経済の回復により、北米およびカリブ海地域は世界平均を上回っています。商務省経済分析局によると、米国の旅行・観光部門の今年第1四半期における伸びは6.8%でGDP成長率の倍以上です。世界的な需要の伸びにより、北米における客室稼働率が上昇、平均宿泊料が3%増加し、2012年の増加率5%に比べると低いものの、この上昇基調は続く見込みです。

米国からの旅行者の増加により、今年上半期、カリブ海地域のホテル宿泊料金指数(HPI)は5%増加しました。カリブ海地域の観光協会によると、同地域における昨年の旅行者は5.4%増加し、過去5年で最大の宿泊客数を記録したため、同地域のホテル関係者は楽観的な見通しを持っています。

太平洋地域では、2012年上半期の増加率が6%に達するなど、昨年の増加率は最高値を記録しましたが、今年はオーストラリアの鉱物資源産業の低迷によりビジネス客の減少が見られ、上半期の伸び率は1%にとどまりました。ヨーロッパ、中東地域でも世界平均を下回り、伸び率は1%と小幅でしたが、2012年の減少が前年比で小幅であったため、回復の方向に向かっていると見られています。

アジア地域は2%減と全地域で唯一減少し、この減少は2011年以来初めてです。中国観光局によると、中国

への旅行者が減少したためでもあります。中国からの旅行者は増え続けていますが、経済の停滞と元高により中国における観光は打撃を受けています。北京観光委員会によると、大気汚染の問題もあって2013年上半期の北京への旅行者数は14.3%減少しました。また、日本への旅行者数もやや減少しています。

ヨーロッパは安定

ヨーロッパのホテル価格は2008年から2009年にかけての経済低迷で最も影響を被ったと言えるでしょう。2013年上半期はユーロ圏のホテル価格が上昇を記録したことから、経済危機は和らいでいるのは明らかであるが、まだ過ぎ去ったわけではありません。今年はいくぶん上昇が見込めますがそれも限定的で、英国、ドイツ、ロシアなどからの旅行者に依るところが大きいでしょう。しかし、今回の危機で最悪の状態を経験した観光地の多くではホテル価格の横ばいが続き、上昇に転じたところもあります。

アイスランドは低迷を脱し、ヨーロッパの観光地の中で最も活況を呈しています。政府観光局の報告書によると、今年の1月～2月の旅行者数はオーロラ人気を反映して、史上最多を記録しました。ギリシャの民間航空局によると、ギリシャもホテル価格の値頃感が続き、2013年上半年、国際空港の入国者数およびその収入の伸びが10%に達するなど旅行者数が増加しました。

エジプトの人気上昇

同じように、エジプトも今年の出だしは良好です。観光支出は依然として予想を下回っていますが、エジプトの観光局は、2013年上半年の旅行者数が9.6%増加したと発表し、一連の民主化運動による混乱で生じた損失を回収しつつあります。観光客が戻り、シャルム・エル・シェイクといった紅海のリゾートではホテル価格は上昇しています。しかし、社会不安が続き国際ニュースの見出しにエジプトの文字が再び並ぶようになる可能性があり、この回復基調が続くと判断するには時期尚早でしょう。

リオへの道

2014年のFIFAワールドカップ、2016年のオリンピックが近づき、ブラジルにも注目が集まっています。スタジアムやインフラの整備の遅れや客室不足が懸念されますが、6月に行われた予行演習的なFIFAコンフェデレーションズカップは抗議活動やデモにもかかわらず成功を収めました。ブラジル政府は2014年までに

準備は整うとしていますが、依然疑問視されています。

主要通貨に対するレアル安が続き、海外からの旅行者にとってホテル価格は割安になっています。レアル安とコンフェデ杯の集客力が合わさり、今年上半期、ブラジルを訪れた観光客による収入は過去最高を記録しました。ブラジル観光局によると、支出は前年同期と比べ9.6%増加しました。

来年の旅行者はさらに増えることが予想され、その需要に対応するためホテルの新規建設が進んでいます。Lodging Econometricsによると、2013年末までに約60のホテルが新たに開業し、約9000室増える予定です。来年はさらに108のホテル建設が予定され、19000室弱が増える見通しです。スポーツイベントとは関係なく、これだけ供給が増えればホテル価格の上昇幅は抑えられることになり、世界の都市の中でホテル価格の平均が最高レベルにあることの多いリオデジャネイロでは、特にそれが当てはまるだろうと予測されます。

中国の躍進

ホテル価格に影響を与えるその他の現象としては、海外に出かける中国人旅行者の急速かつ大幅な増加が挙げられます。中国観光研究院の2013年報告書によると、中国人による海外旅行件数は8,300万と推定され、中国は海外観光客を送り出す世界最大の市場になりました。また、

国連世界観光機関(UNWTO)によると、2012年に中国人旅行者が海外で使った額が前年比40%増の1,020億米ドルに達し、海外旅行大国のドイツおよび米国を上回りました。

中国経済は数十年にわたる急速な成長を遂げた後、今年上半期は減速しましたが、旅行業界の勢いは衰えていません。国際観光は、海外旅行に行ける可処分所得を有する者、特に若い旅行者にとって憧れであることに変わりません。中国人旅行者のツアーが団体から個人に移っているため、ホテル業界はこうした新しい市場の可能性を認識し、対応できるようサービスを変えています。このテーマに関する詳しい情報は、本レポートの最後に掲載されています。

UNWTOは、2013年、国際観光は全体として成長を見込み、旅行業界は拡張期にあります。特にアジアの空では、新規の航空会社や新規の航空ルートが生まれています。地上では、新しいホテルが建設中で、既存施設の改修が進んでいます。旅行業界は最も刺激的で最も競争の激しい業界の一つで、停滞することはありません。

この最新レポートが有益でお役に立ちますようお願いしております。

Hotels.com 代表取締役社長
デイビット・ロシエ

目次

はじめに

最新版HPIの発刊にあたり

1. 世界の宿泊料金の変化	1
2. 主要都市の宿泊料金の変化	12
グラフ: 世界のホテル料金変動、2013年上半期の2012年同期比	23
3. 国別に見る宿泊料金の変化	25
グラフ: 国別のホテル料金変動、2013年上半期の2012年同期比	29
4. 日本の状況	31
グラフ: 日本のホテル料金変動、2013年上半期の2012年同期比	33
5. 国内および海外旅行で支払われた宿泊料金	36
6. 1泊15,000円で宿泊できる都市	38
7. 星評価別の平均宿泊料金	40
8. 旅行の傾向	44
日本人旅行者に人気の海外都市	44
外国人旅行者に人気の国内都市	44
9. 旅行の話題	45
中国人海外旅行モニター	46
クラブサンドウィッチ指数	47
シングル調査	48
Hotels.com 2013年上半期のハイライト	49
Hotels.comについて	51
詳細についてのお問い合わせ	52

HPIレポートは主に2つのデータソースに重点を置いています。

第1部（第1章）では、2013年上半期の世界および各地域におけるHotel Price Index を2012年同期と比較しています。

HPIは、Hotels.comが2013年の上半期に取り扱ったすべての旅行をまとめたもので、各国の市場規模を反映させるべく加重しています。Hotel.comは、ホテル宿泊料金の変化を指数化することで、実勢を歪めてしまう為替変動の影響を排除して、宿泊客が実際に支払った料金の変化を説明しています。

HPIでは2004年を100とし、1つ星から5つ星まですべての星評価のホテルの予約を対象にしています。

第2部（第2章～第7章）では、2013年上半期に日本人旅行者が世界のホテルで支払った1泊1部屋あたりの料金を2012年同期実績と比較しています。ここでは為替とホテル料金双方の変動を反映させ、日本人旅行者が実際に支払った料金を示してい

ます。第4章で示される数値は、各国通貨建ての日本のホテル予約をまとめたものです。

料金は日本円で四捨五入し、百分率の数値は小数点第1位を四捨五入しています。

第9章では、日本人旅行者の人气が最も高かった海外の目的地と、外国人旅行者の人气が最も高かった日本の目的地について説明しています。

最終章ではHotels.comが入手した気軽でお得な情報を中心にご紹介します。

他の通貨建ての報告書もご用意しております。ご希望の場合は hotelsteampr@kyodo-pr.co.jp までご連絡ください。また、ツイッター（#HotelExperts）もフォローしてください。

世界の宿泊料金の 変化

2013年上半期の世界のホテル宿泊料金は平均で前年同期比2%増となり、HPIは111でした。HPIは、2004年の開始時から11ポイント上昇していますが、2007年上半期のピーク時よりも8ポイント低く、依然として2006年上半期の水準を下回っています。

上半期のHPIは4年連続で上昇していますが、上昇率は2012年の上半期に4%上昇したのに比べると半減しています。

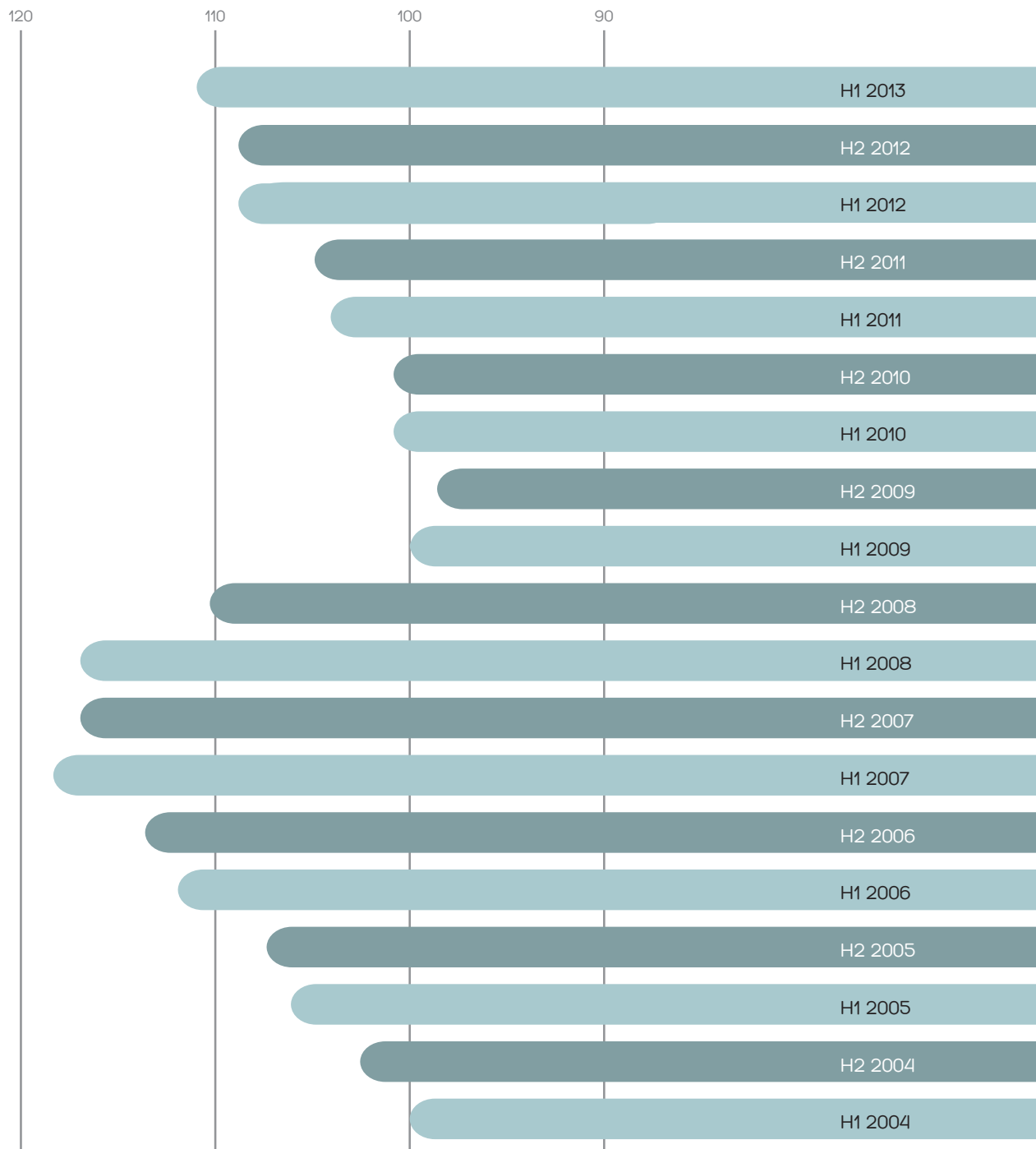
この1年間の宿泊料金は、過去2年間で初めてHPIが下落したアジアを除きすべての地域で上昇しました。

中南米は2年以上にわたってこれまでになく価格が上昇しており、カリブ海地域も引き続き上昇傾向ですが、太平洋地域、ヨーロッパ、および中東では低下しています。宿泊料金にこうした変化をもたらした原因は何か、またこうした変化が各都市や各国へどのような影響を及ぼすかについての詳細な分析は、以下の章でご説明します。

HPIの変動を金、石油、コーヒーなどのグローバルな商品指数の変動と比較すると、世界のホテル宿泊料金の安定性は明白です。2004年以降、商品価格の変動幅は非常に大きく、2013年上半期には金、石油、

コーヒーの価格はいずれも下落しましたが、長期的に見れば大幅に上昇しています。2013年の上半期、金の指数は2004年の約4倍、石油は約3倍、コーヒーは2倍以上に高騰しており、ホテル宿泊料金が依然として割安であることが際立っています。

図1 世界の半期別HPI (2004年上半期から2013年上半期まで)



Hotels.com 中南米 ヴァイスプレジデント ハビエル・エスコベード



中南米における宿泊客の支払額に変化をもたらした要因はいくつかあり、内部要因で、地域全体のマクロ経済的状况に関連するものから、外部要因で、世界状況における地域の位置付けに関連するものまであります。

中南米最大市場の一つであるブラジルでは、2013年上半期は今までとかなり異なっていました。1年前には通貨レアルは強く、為替レートも高かったのですが、2013年初頭から価値を下げるようになり、ブラジル人旅行者の海外での支払額に直接的な影響を及ぼし、さらに国内のインフレも国内旅行に影響を及ぼしました。しかし、為替レートが旅行者にとって有利なため、ブラジルを訪れる海外旅行者の平均支払額は以前より減少しました。

中南米の市場の多くは、国内開発やインフラ整備が地域の観光に好影響を与え、継続的に成長しています。中南米の大国のひとつコロンビアがその一例です。

ブエノスアイレスやボゴタなど、中南米で人気のビジネスエリアでは、市場における宿泊施設の供給増の結果、支払額が減少しました。ビジネス客が地元市場の開発を活性化させ、新規ホテルの開業や、本市場を対象とした新たな宿泊形態が生み出されたのです。これらは、個人経営ホテルやチェーンホテルとの競争の結果、有益な価格ダイナミクスを創出しました。

アメリカ経済が強くなるにつれ、中南米への影響も見られます。アメリカは中南米の多くの国にとって重要なビジネスパートナーであり、中南米の人々が休暇を国外で過ごす場合、一番人気の海外旅行先です。2013年上半期、旅行先のアメリカにおける支払額は、中南米全体

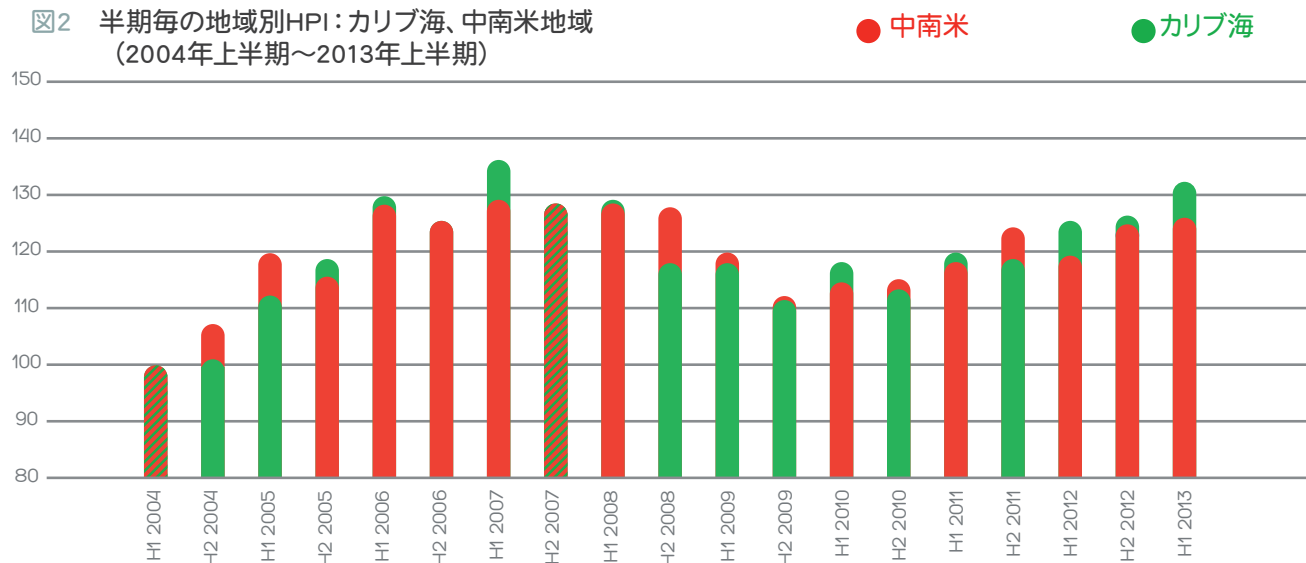
で増加しており、さらに大きな一貫した需要があることを証明していません。

ヨーロッパおよび中東は、中南米の人々が選ぶ旅行先の中では最も低い伸びとなりましたが、中南米からの旅行者にとって、引き続き魅力的な選択肢となっています。なお、多くのヨーロッパの人気都市は、前年より伸び率が低下しており、地域の成長とは相反する結果を示しました。

HPI価格上昇率が最大の 中南米

2013年上半期の中南米のHPIは前年同期比7%増と、2010年下半期以来最高となりました。世界のすべての地域の中で最高の伸びを記録し、全体のパフォーマンスの中でも際立っています。

図2 半期毎の地域別HPI：カリブ海、中南米地域
(2004年上半期～2013年上半期)



その結果、2013年上半期の中南米のHPIは126となり、ここ数年間上昇が続いているカリブ海地域に次いで2番目の高さでした。

中南米のHPIは、2007年上半期に記録した129が最高値で、この数字に並ぶ、あるいは更新するのもそう先ではないと思われます。

堅調なカリブ海地域

カリブ海地域のパフォーマンスは引き続き好調で、2013年上半期のHPIは前年同期比で5%上昇し、伸び率がすべての地域で2番目の高さでした。

2013年上半期のカリブ海地域のHPIは133に上昇し、2007年上半期に記録した136の最高値まで3ポイントに迫っており、最高値の更新もまもなくだと思われます。

Hotels.com 北米 ヴァイスプレジデント ネーハー・パリーク



かつてマーク・トウェインはこう言いました。「20年後、やったことよりやらなかったことを後悔する。だから、はらみ綱を取り払い、安全な港から出航しろ。貿易風を帆にとらえろ。探検し、夢を見、発見しろ」。技術革新のおかげで、予算面だけでなく、宿泊や現地での活動の予約面において、(探検、夢、発見へと向かう)旅行が、誰にでもより簡単にできるようになりました。

ケープタウンの緑豊かなブドウ園や、チェンマイの古い寺院を訪れるのでも、サンタフェの美しい夕陽を見るのでも(どの場所に行くにもアメリカ人旅行者にとって今年は少し安くなっています)、訪れるべき世界の素晴らしい場所の数々を一度味わってしまえば、旅行のない人生など想像し難いものです。

アメリカでは訪れる海外旅行者の増加が予想されることから新しいホテルやホテルブームを呼び起こしました。STR Analyticsによる

と、2013年だけで、600軒以上のホテルが開業します。ホテル供給は来年以降も増加し続け、海外旅行者は、特に中国からは安定的に、流入し続けると専門家は見ています。

カナダも例外ではありません。アメリカとカナダからの旅行者が3.8%増加したことやⁱⁱⁱ、他国からの観光客が増えたことにより、昨年、ナイアガラ湖周辺のブティックホテルから、バンクーバーの4つ星高級ホテルまで、ホテル開業は安定した伸びを見せました。各州にあるホテルのさまざまな選択肢は、週末旅行のどんな思いつきでもかなえてくれることでしょう。

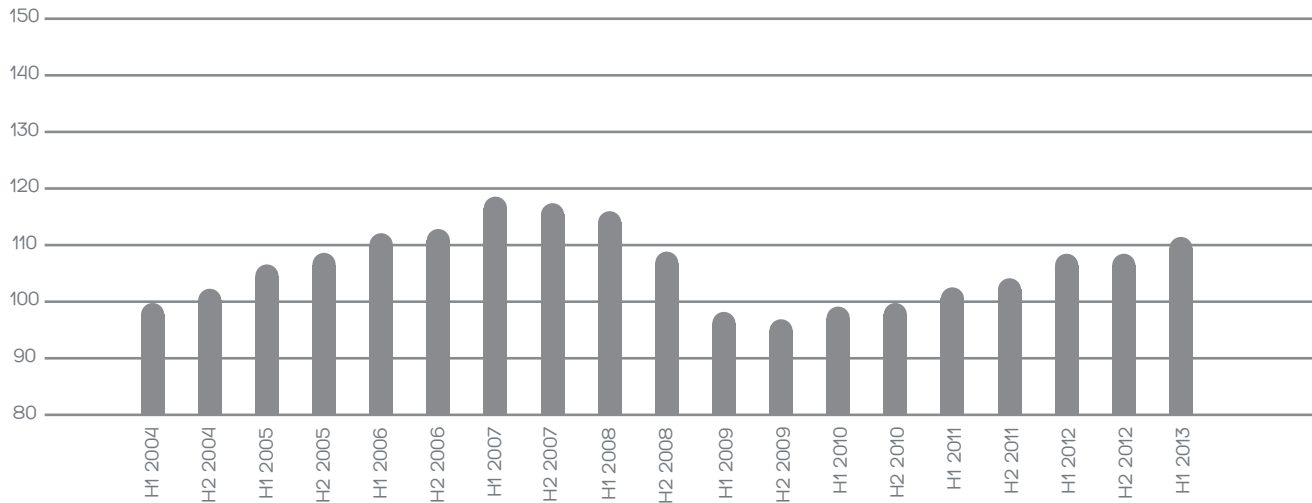
ホテルは増加しているだけではありません。より賢くなっています。ミレニウム世代やビジネス客などのターゲット層に、ハイテクなホテル設備や革新的なロイヤリティプログラムを、ソーシャルメディアを通して宣伝、提供しています。現在、新しいソーシャル/モバイル利用旅行者は、

パーソナルネットワーク以外に、宿泊や小旅行の選択をはじめ、友達と経験を共有できる方法を多く持っています。

HPIIは、皆様が探検し、夢を見、旅心を発見するための案内人になりたいと思っています。安価ながら贅沢な旅ができる場所を探し、また、身近なところで驚きが見出せるよう、お手伝いさせていただきたいと思っています。

図3 半年毎の地域別HPI：北米地域（2004年上半期～2013年上半期）

● 北米



上昇基調ながら伸び悩む 北米

2013年上半期の北米のHPIは前年同期比で3%上昇しました。北米の伸び率は、2011年と2012年上半期に5%増を記録して以降鈍化しています。

2013年上半期の北米のHPIは112に上昇しました。北米のHPIは、2008年下半期以降で最も高い水準になり、2007年上半期のピーク時に記録した119との差は縮まっていますが、まだ及びません。これは2006年上半期以来の水準です。

i <http://www.latimes.com/business/money/la-fi-mo-international-travel-to-grow-20130610,0,2223628.stor>

ii <http://www.ttrweekly.com/site/2013/06/china-travel-boom-reaches-us/>

iii <https://en-corporate.canada.travel/infographic/may-2013>

Hotels.com

ヨーロッパおよび中東
ヴァイスプレジデント
マシュー・ウォールズ



ヨーロッパおよび中東のホテル宿泊料金に関しては、2012年と比較してわずかに改善を示した2013年上半期の経済状況全般を、大変よく反映した状態が続いています。とはいえ、昨年同期と比べ、HPIが示すこの地域における旅行者の平均支払額は1%しか上昇しておらず、7年前の2006年と比べても、依然として低いままです。

2012年、南ヨーロッパの宿泊料金は、著しい景気後退を如実に反映していましたが、2013年初頭には、経済危機の影響を最も受けた国々の多くで、明らかな回復が見られました。経済的に強い北ヨーロッパの国々では、より安定した傾向を示しました。

ロンドンの宿泊料金は、2012年は乱高下しました。オリンピック自体は大成功でしたが、多くのホテル経営者は、著しい需要の変化への対応に追われました。料金は最初かなり高く設定されていましたが、五輪組織

委員会がまとめて確保していた部屋を放出し始めると、駆け込み需要が起こり、特に国内消費者がその恩恵を受けました。ロンドンはかつてないほど世界からマスコミ取材を受けるとともに、同市の宿泊収容能力を拡大・改善させました。料金は現在安定しており、利用率が上がったため、イギリスで昨年同期より上昇傾向を示しています。

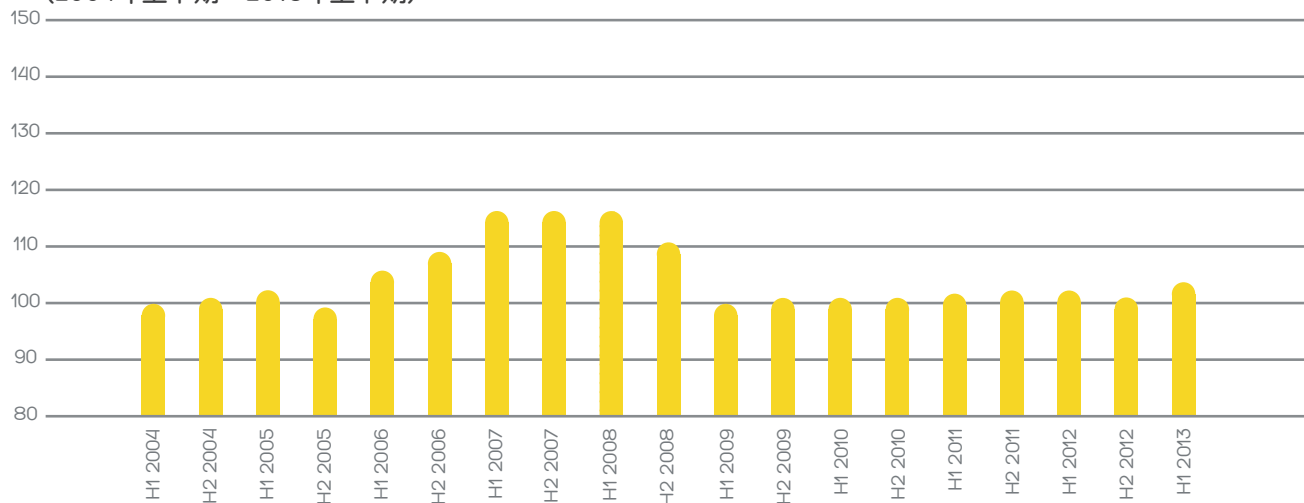
主に景気後退を理由として、ここ数年でヨーロッパの顧客は旅行の傾向を大きく変化させ、長距離旅行の代わりに国内旅行や小旅行が著しく増加しています。しかし、日本円やインドのルピー、ブラジルのレアルなどの主な通貨の下落により、これらの地域で価格が下がったことで、長距離旅行への意欲を刺激できそうです。

中東では、ドバイが引き続きこの地域の原動力となっており、Department of Tourism & Commerceによると、上半期の訪

問客は記録的でした。ドバイは、年間訪問者を2倍にするTourism Vision2020年の計画をしており、2012年の1,000万人から2020年に2,000万人の目標達成に近づいています。

図4 半期毎の地域別HPI：ヨーロッパおよび中東
(2004年上半期～2013年上半期)

● ヨーロッパおよび中東



ヨーロッパおよび中東は 小幅上昇

2013年上半期のヨーロッパおよび中東のHPIは、太平洋地域と同じく前年同期比1%増となり、他の地域のパフォーマンスと比べて遅れをとっています。

小幅上昇を受け、ヨーロッパおよび中東の2013年上半期のHPIは104となり、世界の地域の中で最も低い水準です。

ヨーロッパおよび中東のHPIは、2004年のHPI開始当時から4ポイント上回っているだけで、2006年の水準も下回っています。ヨーロッパ

のほとんどの地域のホテル宿泊料金は、依然としてユーロ圏で経済不振のいくつかの国の影響を受けています。

Hotels.com
アジア・パシフィック
最高経営責任者
ヨハン・スヴァンストローム



世界の他の地域が順調に回復しているのに対し、アジア太平洋地域での結果はまちまちとなりました。ホテル部門における急速な拡大期があった後、この地域での今までの好景気が減速した（中国、インド、オーストラリア）こともあり、さらに日本円やインドルピーなどの通貨の不安定さのため、ホテル宿泊料金の伸びは止まりました。

宿泊料金におけるこうした控えめな結果にもかかわらず、ホテル経営者が、この地域の経済成長において好調な海外旅行市場への便乗に注目しており、見通しは相変わらず明るくなっています。UNWTOによると、現在中国は、ますます増加する中流階級、引き続き緩和されるビザ資格、インフラ改善に押され、海外旅行において世界で最もお金を使う国とされています。

特に北東アジアでも始まった格安航空会社の成長により、国内および海外旅行が引き続き活発になっています。新規参入業者が主要航空会社にプレッシャーをかけ、企業間競争を促すとともに、ビジネス客・レジャー客に向けより手頃な航空料金を提供できるよう促しています。

2013年上半期、アジアの平均宿泊料金は2%下落しました。アジアのいくつかの主要経済圏における成長の低迷が、この下落の一因となっていますが、特定の課題に直面した国もあります。

アジアにおける最大の海外旅行市場の1つ、日本の円の急落は、海外旅行需要の減少を意味し、特に、レートが大幅に下がった巨大市場、韓国への海外旅行に大きく影響しました。しかし裏を返せば、円安は訪日旅行市場にとっては朗報でした。宿泊料金は、多くの訪日旅行者にとってより手頃なものになり、日本の各都市の魅力が一層高まりました。

利用率が上がるにつれ、今後1年間の全体的な市場効果がどうなるか興味深いところです。

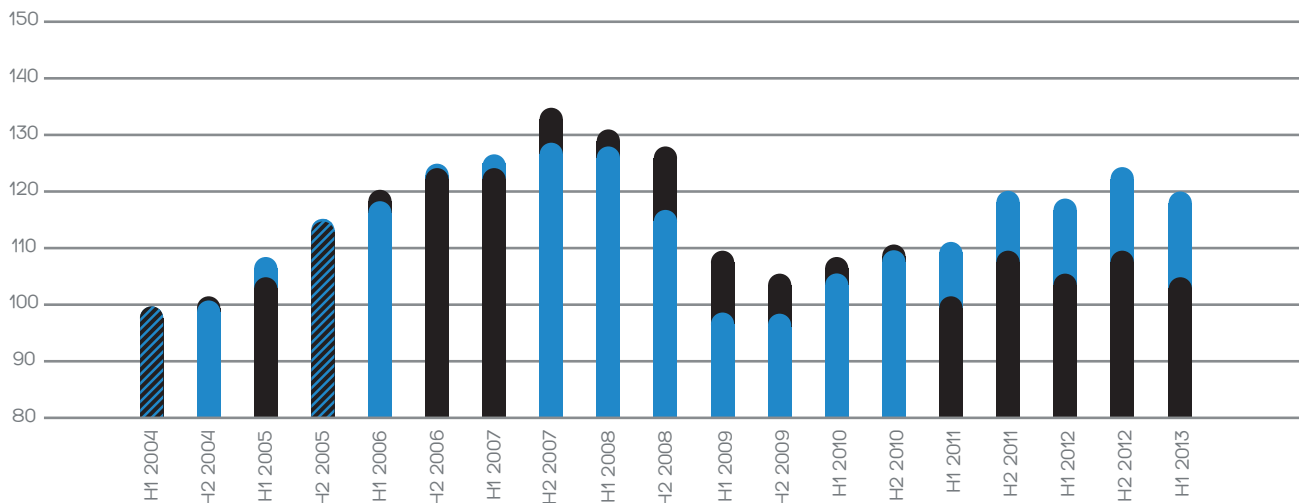
アジア第3の消費者市場ⁱⁱであるインドでは、過去最低のルピー下落が、特に海外旅行などの裁量支出に大きな影響を与えました。また、インドを訪れる旅行者市場も、世界のメディアから注目を集めた、2013年初めに続いた暴力犯罪により、著しい影響を受けました。

東南アジアの国々は、引き続きかなり安定していました。シンガポールでは、記録的な入国者数が続き、また料金も程よく上がっています。一方、香港における近年の料金の急上昇は、止まったように見受けられます。

2010年から2012年まで年間平均成長率8%を示した後、太平洋地域の価格は劇的に減速し、2013年上期は、わずか1%の伸び率となりました。

図5 半期毎の地域別HPI：アジアおよび太平洋地域（2004年上半期～2013年上半期）

● 太平洋 ● アジア



この結果は、当地域の主要経済国であるオーストラリアの鉱業部門の緊縮や政治不安を考えると、当然のことと言えます。最近のオーストラリアドルの対ドル下落は、下期の旅行需要や料金に影響し始めると思われるかもしれませんが、おそらく地方および国内経済は好調を維持するでしょう。

失速する太平洋地域

2013年上半期の太平洋地域のHPIは、ヨーロッパおよび中東と並ぶ前年同期比1%増となり、2009年以来最低のHPI伸び率となりました。

2013年上半期の太平洋地域のHPIは120となり、カリブ海地域と中南米に次いで3番目の高さでした。

これは2007年下半期のピーク時に記録した128には8ポイント及ばず、2006年下半期の水準も下回っています。

唯一下落したアジア

2013年上半期のアジアのホテル宿泊料金は前年同期比2%減となり、唯一下落した地域となりました。

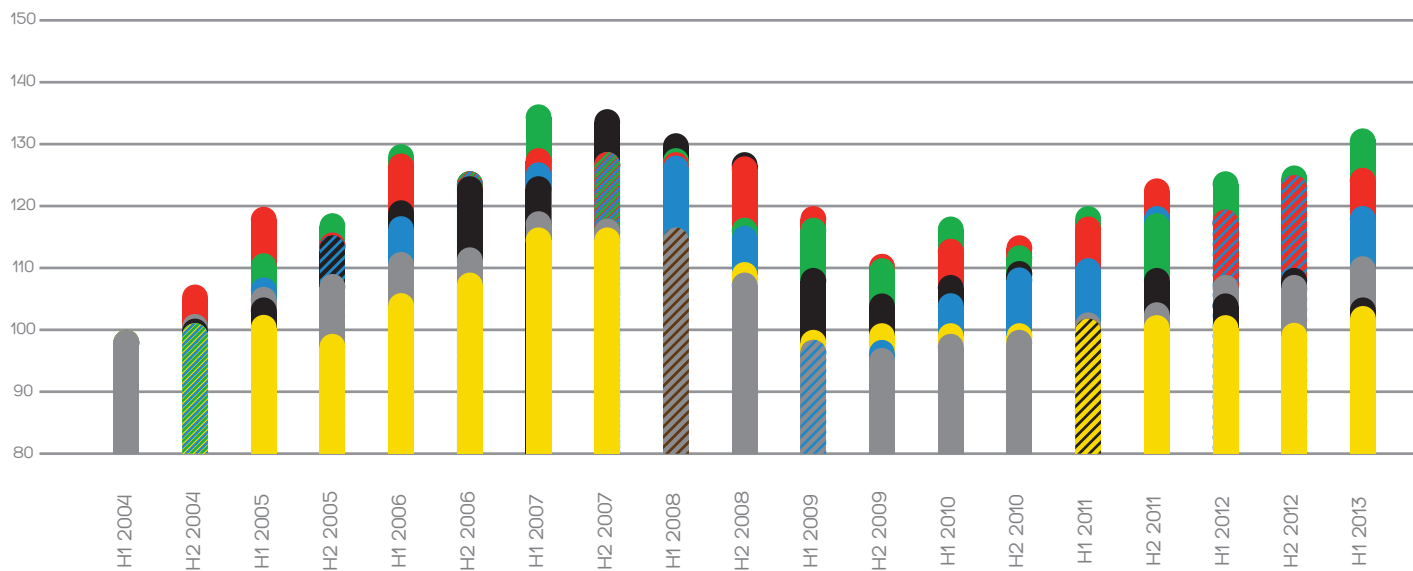
2013年上半期のアジアのHPIは105となり、ヨーロッパおよび中東に次いで2番目に低い水準です。2007年下半期のピーク時に記録した137との差が最も大きく、依然として2005年の水準も下回っていますが、好調な都市も一部見られます。

i ITB World Travel Trends Report 2011.2012: http://www.itb-Kongress.de/media/itbk/itbk_media/itbk_pdf/WTTR_Report_komplett_web.pdf

ii Euromonitor International, June 25, 2013: <http://blog.euromonitor.com/2013/06/top-five-consumer-markets-in-asia-pacific-mounting-inflation-and-falling-currencies-to-impact-consum.html>

図6 半期毎の地域別HPI (2004年上半期～2013年上半期)

- 中南米
- 太平洋
- カリブ海
- アジア
- 北米
- ヨーロッパおよび中東



主要都市の宿泊料金 の変化

ここからは、2013年上半期に日本人旅行者が実際に日本円で支払った料金を前年同期と比較検証していきます。ただし、第4章は例外で、世界各国からの旅行者が日本国内で支払った料金を示しています。

円安進行を受け、HPIが対象とする世界の主要都市の80%で日本人旅行者が支払った宿泊料金は増加して、減少したのは主にアジア地域でした。本報告書が対象とする96の都市のうち、宿泊料金の平均が上昇したのは80の都市で、2つの都市では横ばい、そして14の都市で下落しました。

アジアの勝ち組と負け組

中国人旅行者の増加は、世界のどの地域よりもアジア地域に引き続き大きな影響を及ぼし、格安航空会社や新路線の就航も相まって、需要を喚起しましたが、中国国内の客室稼働率は低下しています。しかし、HPIが対象とする地域の中で宿泊料金が上昇している地域は、他の地域に比べて伸び率が緩やかで、日本人旅行者にとっては依然として割安です。

日本では、日本を訪れた観光客数が全般的に増加したにもかかわらず、国内旅行者が東京で支払った宿泊料金は5%減の11,682円、大阪は2%減の9,209円、京都は1%減の11,846円となりました。詳細と日本の宿泊料金の変化についての説明は、第4章をご参照ください。

タイでは、観光客に人気のスポットが概ね好調でした。最も上昇ペースが早かったのはパタヤで、35%増の10,167円となり、HPIが対象とする都市の中でも伸び率は最大でした。チェンマイが16%増の7,566円、バンコクが13%増の9,577円、そしてプーケットが8%増の15,703円でした。サムイ島は小幅上昇にとどまり、2%増の20,427円でした。

中国本土の宿泊料金は、順調に上昇している地域もありますが、依然として激しい競争の中、低い状態が続いています。北京は15%増の10,637円に、深川は14%増の8,408円、広州は10%増の9,637円、上海は2%増の8,993円でした。しかし、兵馬俑で有名な西安は10%減の6,505円となり、HPIが対象とする都市の中で日本人旅行者が最も少な

い宿泊料金を支払った都市でした。新しいホテルの開業によって客室の供給が増えた香港の宿泊料金は、横ばいの17,720円でしたが、マカオは5%増の18,063円でした。

フィリピンでは、急増した地域もあれば、急落した地域もありました。セブ島は22%増の7,804円、ラプラプは18%増の16,437円、マニラは9%増の8,878円でしたが、ボラカイ島は11%減の17,793円でした。

その他で堅調だったのがタムニンで、33%増の20,727円に、プノンペンが19%増の6,971円、そしてクアラルンプールは17%増の11,698円でした。その一方で、ソウルは13%減の13,222円でした。

北米は上昇

2013年上半期、全米では特に主要都市で客室稼働率が上昇し、とりわけ第1四半期が堅調でした。これにより、HPIが対象とする米国の都市の11都市において、日本人旅行者が支払った宿泊料金は大幅に増加しました。

日本人旅行者に最も人気の高いホノルルは、HPIが対象とする目的地の中で日本人旅行者が最も高い宿泊料金を支払った都市で、37%増の28,527円となりました。ホノルル以上の伸びを見せたのは2都市で、ニューオリンズが40%増の19,205円、またディズニーランドがあるアナハイムが38%増の21,210円でした。

西海岸の都市では、サンディエゴが29%増の16,437円、サンフランシスコが22%増の19,862円、シアトルも同じく22%増の17,725円、そしてロサンゼルスが17%増の16,203円でした。東海岸では、宿泊料金表で4番目に高いニューヨークが18%増の25,743円、ワシントンDCが11%増の17,945円、そしてボストンが5%増の22,101円でした。中西部の都市では、シカゴが26%増の18,088円でした。

カナダも米国と同様に好調で、バンクーバーが27%増の17,271円、トロントが14%増の15,017円、モントリオールも同じく14%増の14,749円でした。

ヨーロッパの宿泊料金が上昇

ユーロ圏の景気は依然として低迷していますが、本報告書が対象としているヨーロッパの30の都市のうち27の都市で順調な回復が見られました。



ドバイ

最も上昇した都市では、リスボンが25%増の13,946円で、バルセロナが24%増の17,985、フランクフルトが22%増の15,534円でした。ベネチアは20%増の25,865円となり、宿泊料金表で3番目に高く、欧州で最も宿泊料金の高い都市となりました。景気低迷の影響で長い期間にわたって宿泊料金が下落していたダブリンはさらに回復し、20%増の13,562円でした。

ヨーロッパの都市の中で日本人旅行者に最も人気の高いパリは15%増の¥22,303円、また2番目に人気の高いロンドン、オリンピック開催後も客室稼働率が上昇し、9%増の21,558円でした。

宿泊料金が下落した都市では、サンクトペテルブルクが15%減の17,477円、モスクワが4%減の16,673円でした。

ヨーロッパの都市の中で日本人旅行者が最も低い宿泊料金を支払ったのがクラクフで、7%増の8,940円でした。これは、アジアの多くの都市と同じ水準です。

中東および北アフリカでも宿泊料金が上昇

一連の民主化運動がもたらした政治的混乱や先行きの不透明感を受け、地域の治安悪化による影響を最も被った都市の中でも、2013年上半期には宿泊料金の値下げをす

る必要がないところもありました。その結果、平均宿泊料金は上昇しました。

中東で最も人気の高いドバイでは、客室稼働率が高く、高級ホテルの開業により宿泊料金は29%増の28,013円となり、宿泊料金表で2番目に高い都市となりました。また、エミレーツ航空が、超大型旅客機「エアバスA380」の発着専用の巨大空港コンコースを世界に先駆けて開業しました。これは2015年までに世界で最も利用客の多い空港になることを目指した同空港拡張計画の一環として建設されたものです。

マラケシュは、市場での楽観的観測の高まりを受け、39%増の15,063円でした。

オーストラリアの伸びは鈍化

最近の鉱物資源価格の急落により、企業需要が減少してオーストラリア西部の都市は大きな影響を受けました。パースは4%増の20,721円にとどまりましたが、これでも同国の都市の中では最も高い水準です。

中国は、オーストラリアにとって急速に拡大した旅行者市場で、オーストラリア西部以外の地域の活性化にも寄与しました。シドニーは平均して20%増の18,485円、ブリスベンは8%増の15,970円、メルボルンは6%

増の14,253円でした。

本報告書の調査期間を通して見られたニュージーランドへの旅行者数の増加を受け、オークランドは26%増の11,179円でした。

中南米を牽引するメキシコ

2013年上半期、中南米で最も上昇したのはメキシコで、日本人旅行者がメキシコシティで支払った宿泊料金は34%増の11,758円で、カリブ海のリゾート地であるカンクンでは29%増の25,046円でした。

日本人旅行者が支払った宿泊料金はサンパウロで9%増の15,424円、ブエノスアイレスが7%増の11,022円でした。6月にFIFAコンフェデレーションズカップが開催され、また2014年にワールドカップ、2016年にオリンピック開催を控えるリオデジャネイロは1%減の22,806円でした。

図7 2013年上半期宿泊料金の前年同期比上昇率が高い都市（通貨：円）

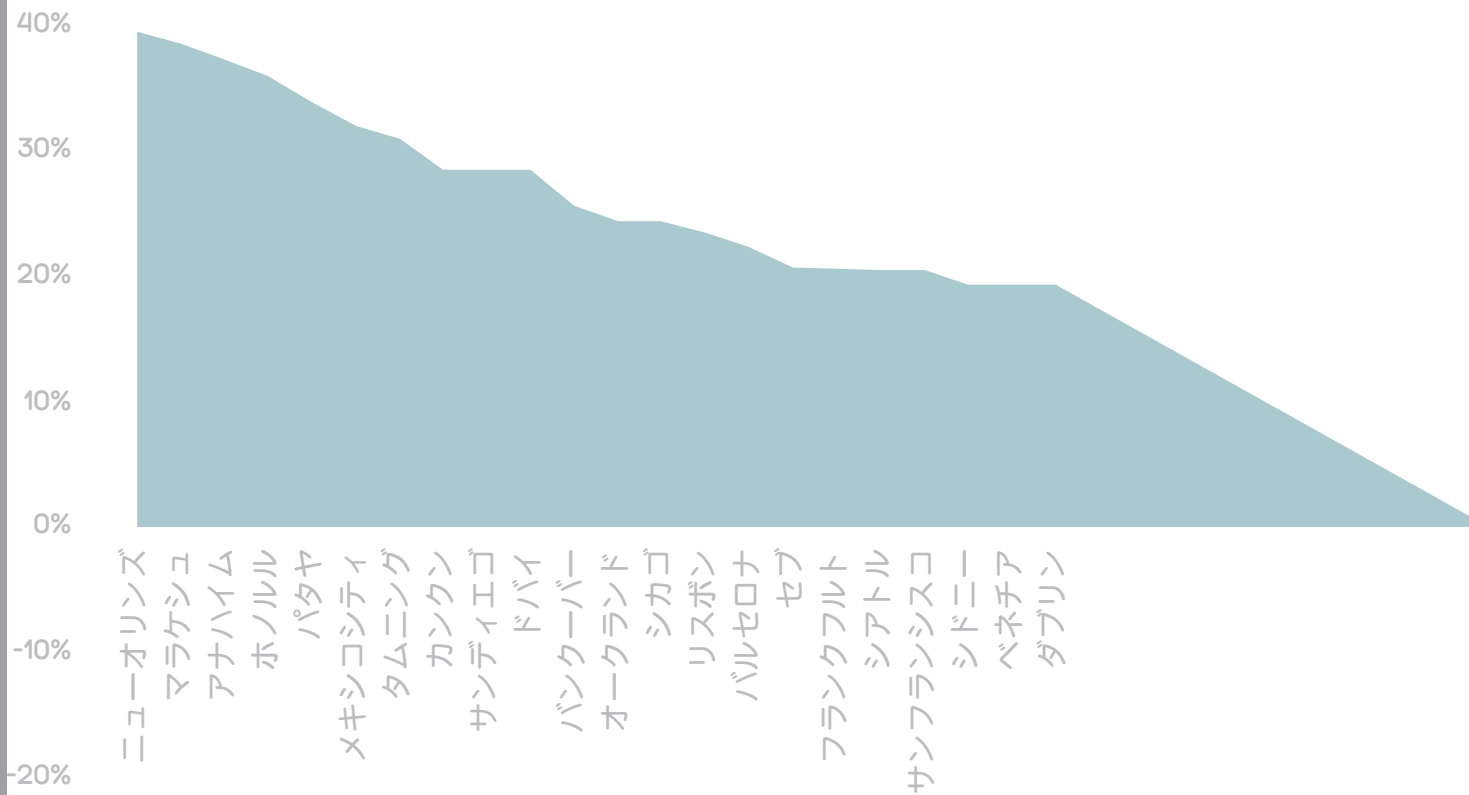


図8 2013年上半期宿泊料金の前年同期比下落率が高い都市（通貨：円）

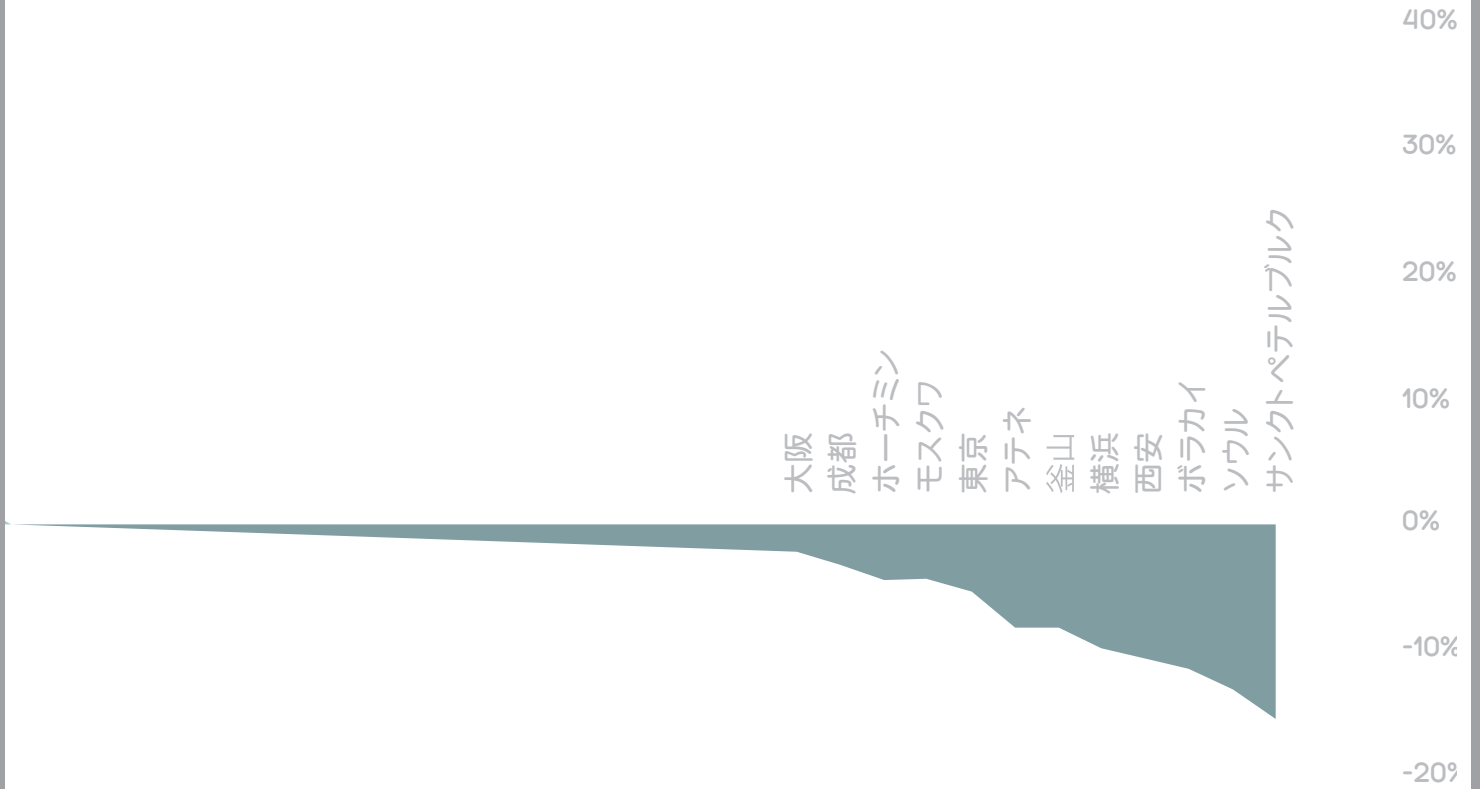
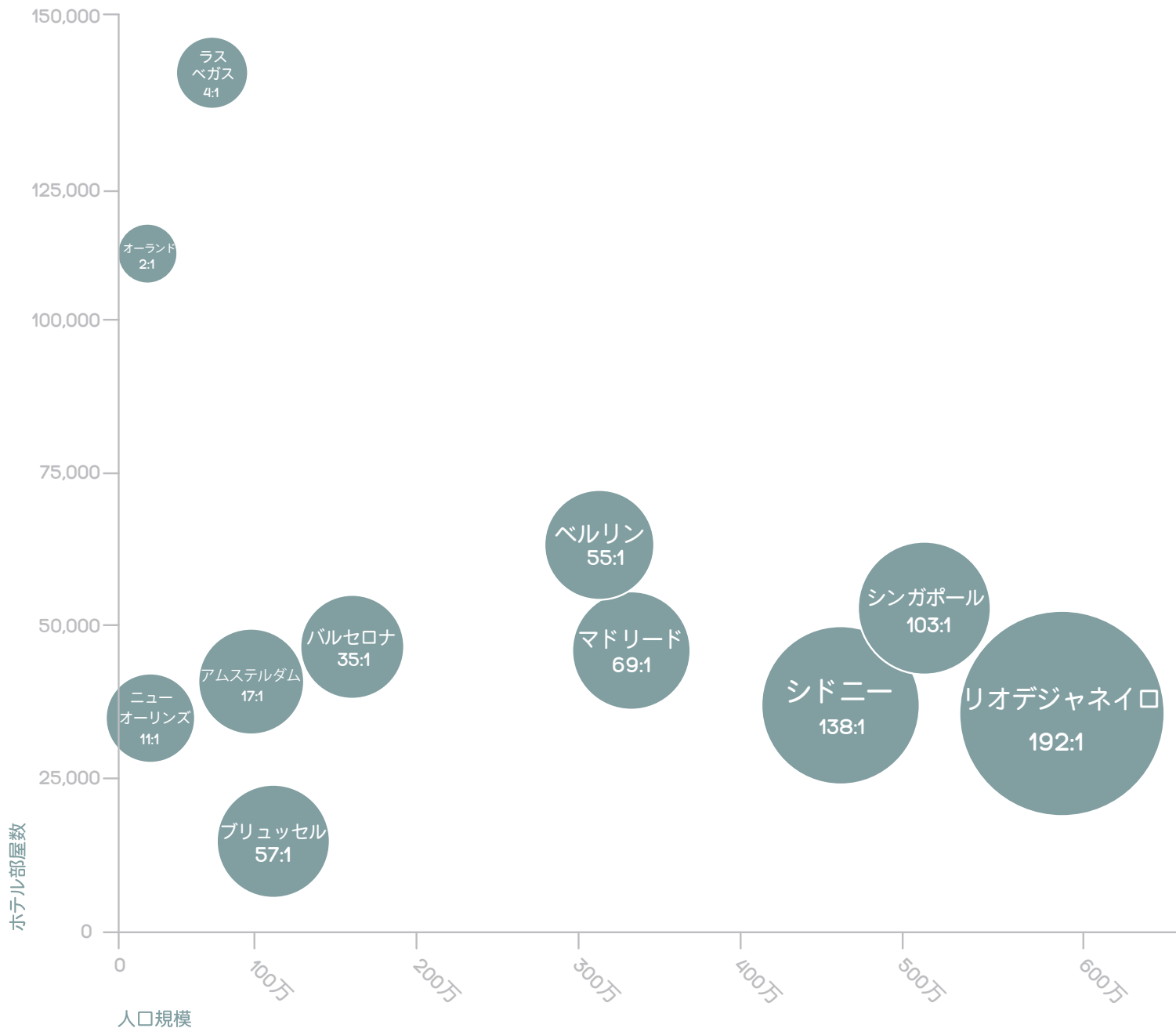


図9 人口規模とホテル部屋数の比率



この図は、都市の総人口を使い、都市のサイズそしてその都市にあるホテル部屋数を表しています。ホテルの部屋が堅調であるところと、供給不足の可能性のある都市をハイライトしています。一般論では、部屋数不足は平均宿泊料金の値上げにつながります。丸の中の数値は、ホテル1部屋に対する人口の対比です。

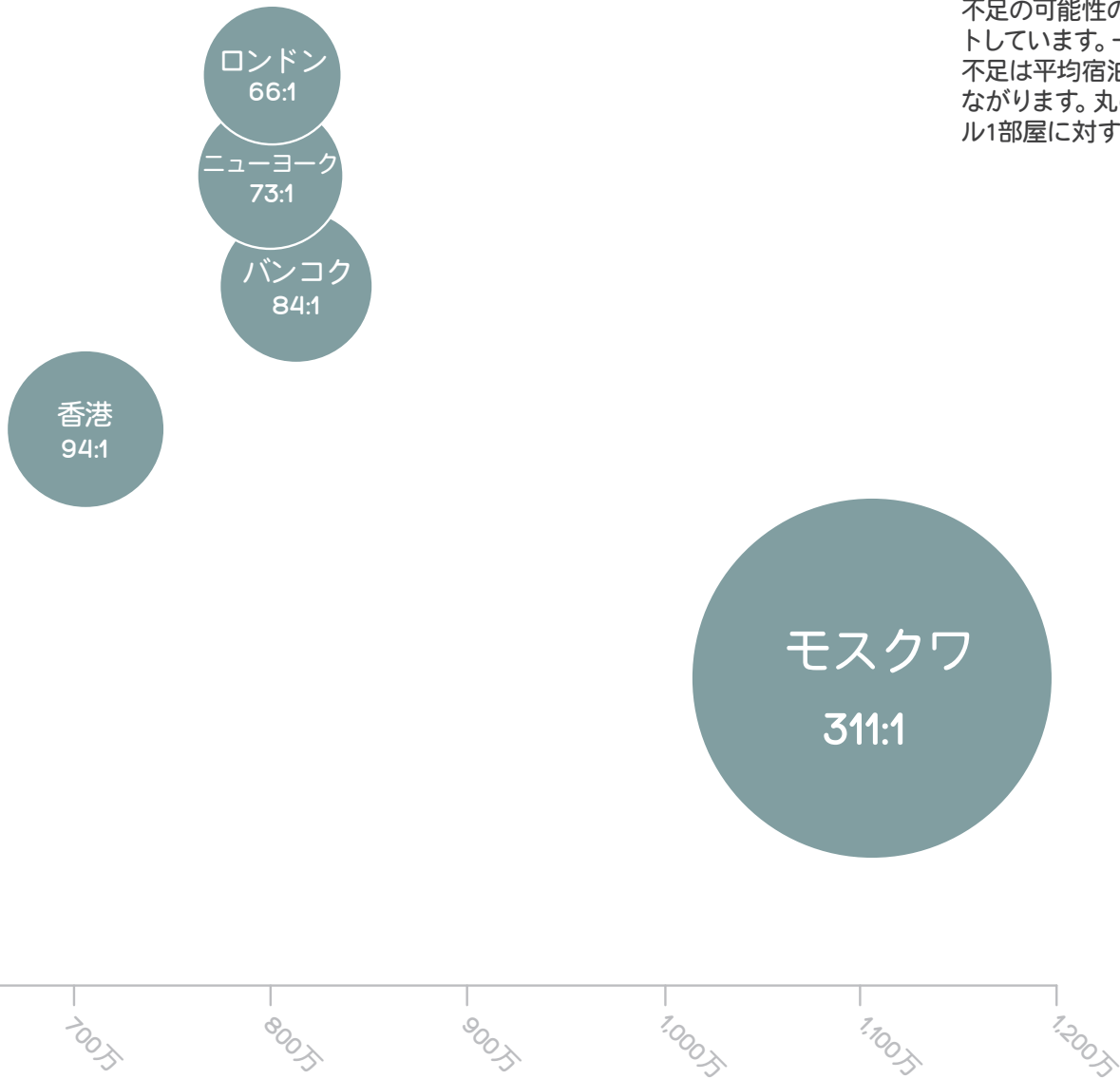


表1 2013年上半期の平均宿泊料金および前年同期比変化率（通貨：円）

都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率	都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
ホノルル	28,527	20,887	37%	ワシントンD.C.	17,945	16,103	11%
ドバイ	28,013	21,769	29%	マイアミ	17,860	17,821	0%
ベネチア	25,865	21,585	20%	ボラカイ	17,793	20,027	-11%
ニューヨーク	25,743	21,874	18%	シアトル	17,725	14,526	22%
ランカウイ	25,465	25,751	-1%	香港	17,720	17,709	0%
カンクン	25,046	19,350	29%	サンクトペテルブルク	17,477	20,524	-15%
シンガポール	24,638	22,019	12%	バンクーバー	17,271	13,563	27%
ジュネーブ	23,158	20,516	13%	モスクワ	16,673	17,311	-4%
リオデジャネイロ	22,806	23,060	-1%	ブルージュ	16,535	14,214	16%
パリ	22,303	19,458	15%	ラブラブ	16,437	13,975	18%
ボストン	22,101	21,098	5%	サンディエゴ	16,437	12,756	29%
ロンドン	21,558	19,790	9%	ムンバイ	16,214	14,857	9%
アナハイム	21,210	15,328	38%	ロサンゼルス	16,203	13,811	17%
タムニン	20,727	15,599	33%	ミュンヘン	16,052	13,757	17%
パース	20,721	19,952	4%	ブリズベン	15,970	14,801	8%
サムイ島	20,427	19,951	2%	エジンバラ	15,896	15,105	5%
レイクブエナビスタ	19,960	18,395	9%	イスタンブール	15,707	13,220	19%
サンフランシスコ	19,862	16,288	22%	プーケット	15,703	14,574	8%
チューリッヒ	19,410	16,412	18%	フランクフルト	15,534	12,726	22%
ニューオリンズ	19,205	13,763	40%	サンパウロ	15,424	14,106	9%
ミラノ	19,167	17,818	8%	ウィーン	15,298	14,244	7%
バリ	19,113	17,014	12%	マラケシュ	15,063	10,846	39%
フィレンツェ	19,058	16,982	12%	トロント	15,017	13,172	14%
アムステルダム	18,818	15,839	19%	モントリオール	14,749	12,918	14%
ローマ	18,726	15,761	19%	ブリュッセル	14,347	12,912	11%
シドニー	18,485	15,353	20%	メルボルン	14,253	13,500	6%
シカゴ	18,088	14,310	26%	リスボン	13,946	11,128	25%
マカオ	18,063	17,256	5%	ダブリン	13,562	11,348	20%
バルセロナ	17,985	14,562	24%	マドリード	13,296	11,704	14%

都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
ソウル	13,222	15,140	-13%
タイペイ	13,013	12,008	8%
プラハ	12,874	11,939	8%
ペナン	12,873	11,814	9%
釜山	12,573	13,498	-7%
ジャカルタ	12,215	11,572	6%
デリー	12,160	11,668	4%
ラスベガス	11,847	11,531	3%
京都	11,846	11,932	-1%
メキシコシティ	11,758	8,761	34%
タリン	11,723	10,534	11%
クアラルンプール	11,698	9,995	17%
東京	11,682	12,269	-5%
ブダペスト	11,663	10,750	8%
オーランド	11,660	9,842	18%
ザグレブ	11,535	10,089	14%
ベルリン	11,453	11,282	2%
オークランド	11,179	8,840	26%
ブエノスアイレス	11,022	10,301	7%
アテネ	10,821	11,654	-7%
チェンナイ	10,720	9,917	8%
北京	10,637	9,256	15%
パタヤ	10,167	7,507	35%
広州	9,637	8,796	10%
バンコク	9,577	8,483	13%
ワルシャワ	9,364	8,918	5%
大阪	9,209	9,350	-2%
上海	8,993	8,786	2%
クラクフ	8,940	8,323	7%
マニラ	8,878	8,178	9%
深川	8,408	7,384	14%

都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
ホーチミン	8,402	8,743	-4%
セブ	7,804	6,385	22%
ハノイ	7,694	7,809	-1%
チェンマイ	7,566	6,497	16%
シェムリアップ	7,497	6,743	11%
プノンペン	6,971	5,835	19%
西安	6,505	7,206	-10%

表2 2013年上半期宿泊料金の前年同期比上昇率が高い都市(通貨:円)

都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
ニューオリンズ	19,205	13,763	40%
マラケシュ	15,063	10,846	39%
アナハイム	21,210	15,328	38%
ホノルル	28,527	20,887	37%
パタヤ	10,167	7,507	35%
メキシコシティ	11,758	8,761	34%
タムニン	20,727	15,599	33%
カンクン	25,046	19,350	29%
サンディエゴ	16,437	12,756	29%
ドバイ	28,013	21,769	29%
バンクーバー	17,271	13,563	27%
オークランド	11,179	8,840	26%
シカゴ	18,088	14,310	26%
リスボン	13,946	11,128	25%
バルセロナ	17,985	14,562	24%
セブ	7,804	6,385	22%
フランクフルト	15,534	12,726	22%
シアトル	17,725	14,526	22%
サンフランシスコ	19,862	16,288	22%
シドニー	18,485	15,353	20%
ベネチア	25,865	21,585	20%
ダブリン	13,562	11,348	20%

表3 2013年上半期宿泊料金の前年同期比下落率が高い都市(通貨:円)

都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
サンクトペテルブルク	17,477	20,524	-15%
ソウル	13,222	15,140	-13%
ボラカイ	17,793	20,027	-11%
西安	6,505	7,206	-10%
横浜	9,329	10,250	-9%
アテネ	10,821	11,654	-7%
釜山	12,573	13,498	-7%
東京	11,682	12,269	-5%
ホーチミン	8,402	8,743	-4%
モスクワ	16,673	17,311	-4%
成都市	8,756	9,070	-3%
大阪	9,209	9,350	-2%

表4
良いビーチのある都市
(通貨:円)

都市名	価格
釜山	12,573
バンクーバー	17,271
香港	17,720
マイアミ	17,860
バルセロナ	17,985
シカゴ	18,088
シドニー	18,485
リオデジャネイロ	22,806
ドバイ	28,013
ホノルル	28,527

表5
ショッピングに最適な都市
(通貨:円)

都市名	価格
バンコク	9,577
東京	11,682
香港	17,720
バルセロナ	17,985
ミラノ	19,167
ロンドン	21,558
パリ	22,303
シンガポール	24,638
ニューヨーク	25,743
ドバイ	28,013

表6
クリスマスシーズン向けの都市
(通貨:円)

都市名	価格
上海	8,993
大阪	9,209
ベルリン	11,453
ブダペスト	11,663
プラハ	12,874
ダブリン	13,562
ウィーン	15,298
バルセロナ	17,985
ロンドン	21,558
ベネチア	25,865

表7
最高の島 (通貨:円)

島名	価格
セブ	7,804
フィジー	8,798
マルタ	13,036
プーケット	15,703
香港	17,720
ボラカイ	17,793
バリ	19,113
サムイ	20,427
グアム	20,708
ランカウイ	25,465

表8
曲名に使われる都市
(通貨:円)

都市名	価格
バンコク	9,577
ウィーン	15,298
ラスベガス	11,847
アムステルダム	18,818
シカゴ	18,088
バルセロナ	17,985
東京	11,682
サンフランシスコ	19,862
ロンドン	21,558
ニューヨーク	25,743

表9
格安な休暇向けの都市
(通貨:円)

都市名	価格
クラクフ	8,940
ワルシャワ	9,364
アテネ	10,821
ベルリン	11,453
ザグレブ	11,535
ブダペスト	11,663
タリン	11,723
プラハ	12,874
マドリッド	13,296
ダブリン	13,562

表10
オペラ・バレエ鑑賞に最適な都市
(通貨:円)

都市名	価格
ブエノスアイレス	11,022
東京	11,682
マドリッド	13,296
ウィーン	15,298
モスクワ	16,673
バルセロナ	17,985
シドニー	18,485
ミラノ	19,167
ロンドン	21,558
ニューヨーク	25,743

表11
超高層ホテル*が多い都市
(通貨:円)

都市名	価格
ドバイ	28,013
バンコク	9,577
上海	8,993
香港	17,720
ジャカルタ	12,215
マカオ	18,063
名古屋	8,027
シンガポール	24,638
ムンバイ	16,214
ニューヨーク	25,743

* 200メートル以上

世界のホテル料金変動 2013年上半期の2012年同期比

サンフランシスコ
19,862円
+22%

ラスベガス
11,847円
+3%

ニューオーリンズ
19,205円
+40%

カンクン
25,046円
+29%

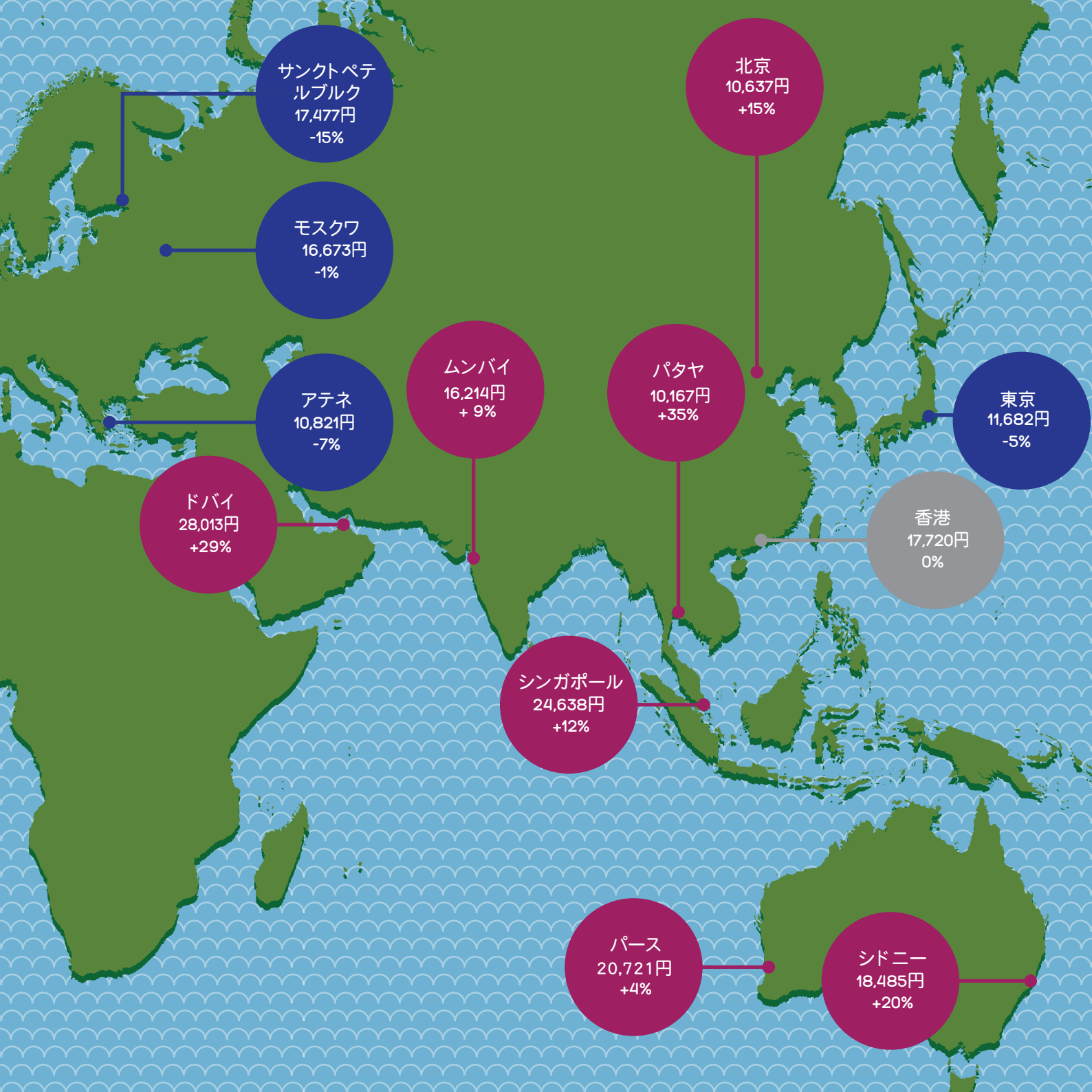
ニューヨーク
25,743円
+18%

ロンドン
21,558円
+9%

マラケシュ
15,063円
+39%

リオデ
ジャネイロ
22,806円
-1%

ブエノス
アイレス
11,022円
+7%



サンクトペテルブルク
17,477円
-15%

モスクワ
16,673円
-1%

アテネ
10,821円
-7%

ドバイ
28,013円
+29%

ムンバイ
16,214円
+9%

パタヤ
10,167円
+35%

東京
11,682円
-5%

香港
17,720円
0%

シンガポール
24,638円
+12%

パース
20,721円
+4%

シドニー
18,485円
+20%

国別にみる宿泊料金 の変化

2013年上半期には円安が進み、HPIの調査対象国80%以上の国で、日本人旅行者が支払った宿泊料金が増加しました。

日本では、国内のホテルで支払われた宿泊料金の平均は4%減の10,572円でした。同じく下落した韓国は12%減の13,195円、そしてベトナムは3%減の8,747円でした。

アジアで最大の伸びを記録したグアムは33%増の20,708円、サイパンは21%増の12,594円でした。カンボジアは12%増の7,319円で、HPIが対象とする国の中で日本人旅行者が最も低い宿泊料金を支払った国でした。シンガポールも同じく12%増で24,638円となり、こちらは日本人旅行者が2番目に高い宿泊料金を支払った国でした。マレーシアは11%増の13,074円、インドネシアは10%増の15,029円、タイも同じく10%増の10,685円でした。

南太平洋地域では、フィジーが10%減の¥8,798円でした。HPIが対象



アラブ首長国連邦

とする都市の中で最も伸び率が高かったニュージーランドは32%増の12,143円でした。一方で、鉱物資源業界低迷の影響を受けて宿泊料金の伸びが鈍化しているオーストラリアは、18%増の17,192円でした。

ヨーロッパで日本人宿泊客が支払った料金は、2桁の伸びを見せました。アイルランドは、経済危機の打撃が最も大きかった国のひとつですが、平均で24%増の13,521円に回復しました。また、同様にポルトガルも21%増の13,219円、スペインは19%増の15,260円でした。スイス

は17%増の21,603円となり、宿泊料金表で3番目の高さとなりました。また、同じく17%の伸びを記録したスウェーデンは17,133円、トルコは15,395円でした。他に2桁の伸びを記録した国では、ノルウェーが15%増の17,997円、フランスが14%増の20,014円、フィンランドも同じく14%増の15,769円、マルタも同じく13,036円でした。

ヨーロッパで宿泊料金が下落した2カ国のうちのひとつがウクライナで、2012年夏に開催されたUEFA欧州選手権後の調整もあり、2%減の

11,785円でした。共同開催国のポーランドでは伸び率が鈍化し、わずか7%増の9,173円でした。ロシアは5%減の16,907円でした。

中東および北アフリカでは、同地域の多くが安定化したのを受けて好調を示しました。ドバイが牽引するアラブ首長国連邦 (UAE) は、37%増の28,269円となり、宿泊料金表のトップに躍り出ました。モロッコは31%増の13,008円、エジプトも31%増の9,019円でした。再び紙面をにぎわしているエジプトの宿泊料金は、また影響を受けるでしょう。イスラエルもまた恩恵を受け、平均29%増の18,128円でした。

中南米で好調さが際立っているメキシコは21%増の15,454円、ペルーは20%増の16,151円、そして、アルゼンチンは7%増の11,918円でした。2014年のワールドカップと2016年のオリンピック開催を控えるブラ

ジルで日本人旅行者が支払った宿泊料金は、中南米で最も高い料金でしたが、5%減の17,484円となりました。

北米では、米国とカナダがともに19%増加し、米国が19,908円、カナダが16,967円でした。

本報告書の調査対象である53カ国のうち、45カ国で日本人旅行者が支払った宿泊料金が増加し、1カ国で横ばい、そして7カ国で下落しました。

表12 国別の2013年上半期の平均宿泊料金と前年同期比変化率(通貨:円)

国名	2013年上半期	2012年上半期	変化率	国名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
アラブ首長国連邦	28,269	20,675	37%	ポルトガル	13,219	10,885	21%
シンガポール	24,638	22,019	12%	韓国	13,195	15,029	-12%
スイス	21,603	18,414	17%	マレーシア	13,074	11,823	11%
グアム	20,708	15,569	33%	マルタ	13,036	11,465	14%
フランス	20,014	17,582	14%	モロッコ	13,008	9,937	31%
アメリカ合衆国	19,908	16,737	19%	チェコ	12,862	11,859	8%
イギリス	18,966	17,793	7%	サイパン	12,594	10,407	21%
イタリア	18,921	16,751	13%	台湾	12,437	11,515	8%
イスラエル	18,128	14,008	29%	ニュージーランド	12,143	9,216	32%
マカオ	18,063	17,256	5%	アルゼンチン	11,918	11,174	7%
ノルウェー	17,997	15,613	15%	インド	11,844	11,045	7%
香港	17,718	17,709	0%	ウクライナ	11,785	12,022	-2%
ブラジル	17,484	18,389	-5%	ハンガリー	11,638	10,718	9%
オーストラリア	17,192	14,622	18%	タイ	10,685	9,687	10%
スウェーデン	17,133	14,673	17%	日本	10,572	10,977	-4%
カナダ	16,967	14,267	19%	フィリピン	10,371	9,595	8%
ロシア	16,907	17,801	-5%	中国	9,240	8,761	5%
オランダ	16,383	14,703	11%	ポーランド	9,173	8,612	7%
ペルー	16,151	13,491	20%	エジプト	9,019	6,888	31%
ギリシャ	15,883	14,664	8%	フィジー	8,798	9,781	-10%
フィンランド	15,769	13,793	14%	ベトナム	8,747	9,009	-3%
メキシコ	15,454	12,755	21%	カンボジア	7,319	6,509	12%
トルコ	15,395	13,163	17%				
デンマーク	15,261	14,155	8%				
スペイン	15,260	12,867	19%				
オーストリア	15,038	13,886	8%				
インドネシア	15,029	13,713	10%				
ベルギー	14,193	12,547	13%				
ドイツ	13,937	12,311	13%				
南アフリカ	13,897	13,489	3%				
アイルランド	13,521	10,943	24%				

表13 2013年上半期の宿泊料金の前年同期比増加率が最も高い国（通貨：円）

国名	2013年上半期	2012年上半期	変化率	国名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
アラブ首長国連邦	28,269	20,675	37%	スペイン	15,260	12,867	19%
グアム	20,708	15,569	33%	オーストラリア	17,192	14,622	18%
ニュージーランド	12,143	9,216	32%	スイス	21,603	18,414	17%
エジプト	9,019	6,888	31%	トルコ	15,395	13,163	17%
モロッコ	13,008	9,937	31%	スウェーデン	17,133	14,673	17%
イスラエル	18,128	14,008	29%	ノルウェー	17,997	15,613	15%
アイルランド	13,521	10,943	24%	フィンランド	15,769	13,793	14%
モルディブ	76,648	62,349	23%	フランス	20,014	17,582	14%
ポルトガル	13,219	10,885	21%	マルタ	13,036	11,465	14%
メキシコ	15,454	12,755	21%				
スペイン	12,594	10,407	21%				
ペルー	16,151	13,491	20%				
アメリカ合衆国	19,908	16,737	19%				
カナダ	16,967	14,267	19%				

表 14
世界の経済大国2013年
（通貨：円）

国名	価格
アメリカ合衆国	19,908
中国	9,240
日本	10,572
ドイツ	13,937
フランス	20,014
イギリス	18,966
ブラジル	17,484
ロシア	16,907
イタリア	18,921
インド	11,844

（国際通貨基金調べ）

表 15
発音が魅力的な国
（通貨：円）

国名	価格
フランス	20,014
イタリア	18,921
イギリス	18,966
スペイン	15,260
スウェーデン	17,133
ノルウェー	17,997
フィンランド	15,769
デンマーク	15,261
中国	9,240
日本	10,572

世界8,000人以上の旅行者による投票結果
（Hotels.com調べ）

表 16
最も友好的な国
（通貨：円）

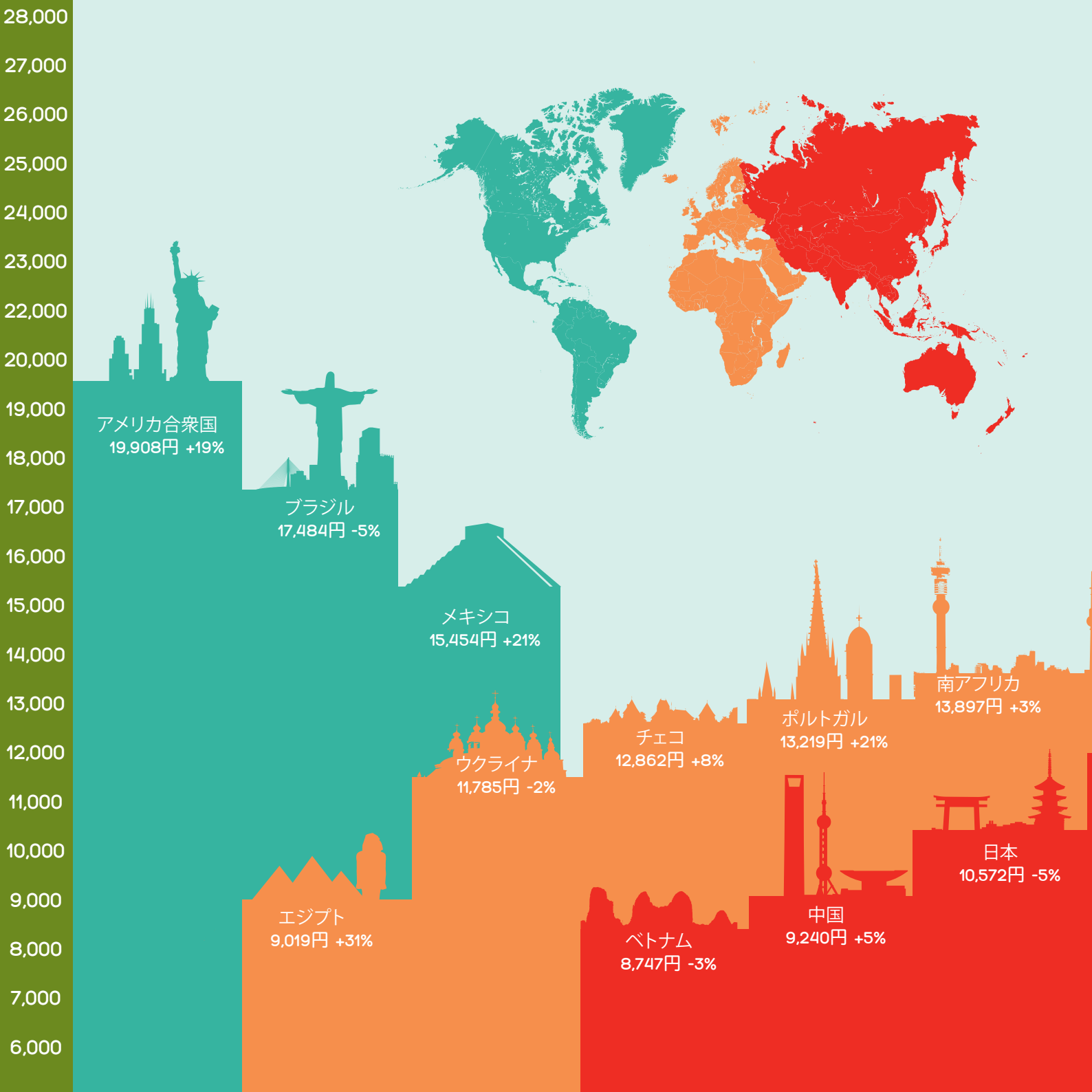
国名	価格
アメリカ合衆国	19,908
スペイン	15,260
日本	10,572
タイ	10,685
イタリア	18,921
メキシコ	15,454
ギリシャ	15,883
ドイツ	13,937
イギリス	18,966
オーストラリア	17,192

世界2万7000人の旅行者による投票結果
（Hotels.com調べ）

表 17
家族での食事に最適な国
（通貨：円）

国名	価格
イタリア	18,921
アメリカ合衆国	19,908
日本	10,572
中国	9,240
フランス	20,014
メキシコ	15,454
スペイン	15,260
アルゼンチン	11,918
ブラジル	17,484
オーストラリア	17,192

世界2万7000人の旅行者による投票結果
（Hotels.com調べ）



アメリカ合衆国
19,908円 +19%

ブラジル
17,484円 -5%

メキシコ
15,454円 +21%

南アフリカ
13,897円 +3%

チェコ
12,862円 +8%

ポルトガル
13,219円 +21%

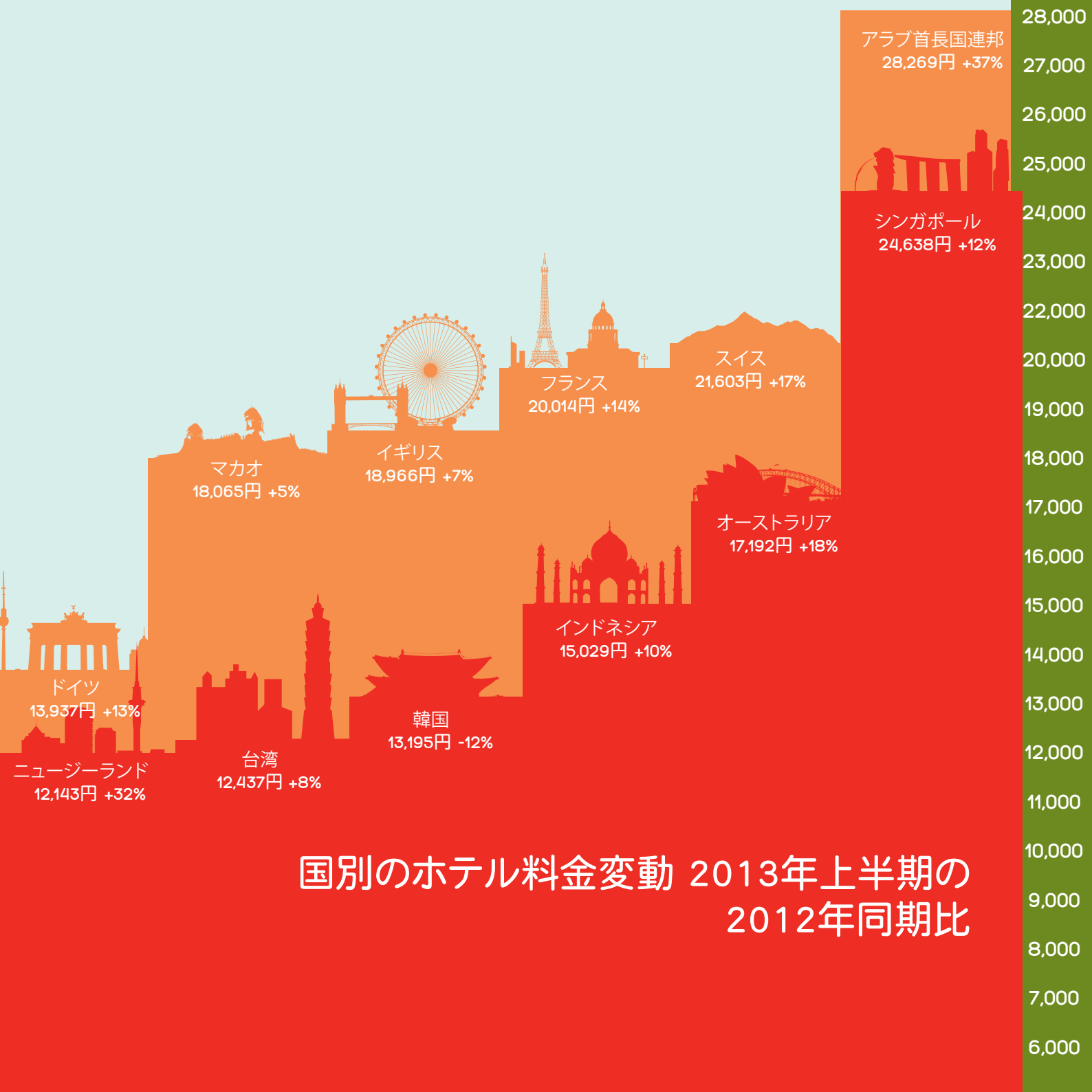
ウクライナ
11,785円 -2%

日本
10,572円 -5%

エジプト
9,019円 +31%

ベトナム
8,747円 -3%

中国
9,240円 +5%



アラブ首長国連邦
28,269円 +37%

シンガポール
24,638円 +12%

スイス
21,603円 +17%

フランス
20,014円 +14%

イギリス
18,966円 +7%

マカオ
18,065円 +5%

オーストラリア
17,192円 +18%

インドネシア
15,029円 +10%

ドイツ
13,937円 +13%

韓国
13,195円 -12%

台湾
12,437円 +8%

ニュージーランド
12,143円 +32%

国別のホテル料金変動 2013年上半期の 2012年同期比

28,000
27,000
26,000
25,000
24,000
23,000
22,000
21,000
20,000
19,000
18,000
17,000
16,000
15,000
14,000
13,000
12,000
11,000
10,000
9,000
8,000
7,000
6,000



大阪

この章では、全ホテル宿泊客が日本で支払った金額について取り扱いません。旅行者が支払う平均的な料金は2013年上半期に全体で7%増加し、全国で11,844円となっています。

2012年下半期の、尖閣諸島をめぐる中国との領土問題で、訪日する中国人旅行者の数が今年始めに相当落ち込みました。しかし円安および新たな航空便の影響により、東南アジアをはじめとするその他の国々からの旅行者の増加が穴埋めをしました。タイを中心とした日本観光誘致運動も航空業界を刺激し、全体的な旅行者数の増加に寄与しました。

HPI調査による9都市のうち、いくつかは好調な増加を見せています。名古屋と大阪で最も伸びており、それぞれ16%増の8,410円と15%増の9,939円でした。札幌は8%増加して9,505円、また東京は7%増加で13,195円を示し、最高価格となっています。

沖縄市の落ち込みが最も大きく、7%減少して10,293円で、中国人旅行者数の減少の影響を最も受けています。福岡は4%減の8,438円、横浜は1%減の9,679円でした。

表 18 日本国内の2012年上半期と比較した2013年上半期の一泊
一部屋あたり平均宿泊料金（通貨：円）

都市名	2013年上半期	2012年上半期	変化率
東京	13,195	12,306	7%
京都	12,569	11,817	6%
沖縄市	10,293	11,045	-7%
大阪	9,939	8,676	15%
横浜	9,679	9,813	-1%
札幌	9,505	8,785	8%
広島	9,292	9,206	1%
福岡	8,438	8,799	-4%
名古屋	8,410	7,265	16%

日本のホテル料金変動 2013年上半期の2012年同期比



最もお金を使う旅行者

ここでは国籍ごとの日本での平均宿泊料金を見ます。

本報告書における29カ国中28カ国が、2013年上期に前年同期に比べ、主に円の下落の影響で、日本における全体的な支払いが一様に上昇しています。

表の最高額と最低額の差は一泊約5,219円で、ブラジルからの旅行者が日本での宿泊に最もお金を使い、23%増加し15,274円。2位のロシア人旅行者が26%増の14,535円で欧州では最も高く、3位のインド人旅行者が29%増の14,293円で最も増加率の高い国の1つとなっています。

マレーシア人旅行者の増加率が全体で最も高く、36%増加し12,334円で18位。一方イスラエル人旅行者は唯一増減がなく、13,935円で6位となっています。

その他近隣諸国では、中国が21%増の13,824円で8位。韓国は12%増の10,055円で、支払額では最低で、表内そのすぐ上の2カ国である10,909円の台湾と10,948円のフィンランドと同じ増加率を示しています。

表 19 国籍別の2012年上半期と比較した2013年上半期の平均日本宿泊料金
(通貨:円)

順位	国/地域	2013年上半期	2012年上半期	変化率
1	ブラジル	15,274	12,380	23%
2	ロシア	14,535	11,528	26%
3	インド	14,293	11,067	29%
4	オーストラリア	13,978	11,925	17%
5	アメリカ合衆国	13,957	12,766	9%
6	イスラエル	13,935	13,984	0%
7	メキシコ	13,881	11,343	22%
8	中国	13,824	11,456	21%
9	スイス	13,530	11,289	20%
10	ノルウェー	13,358	11,861	13%
11	アイルランド	13,347	11,718	14%
12	イギリス	13,215	11,839	12%
13	デンマーク	13,057	10,809	21%
14	タイ	13,034	10,942	19%
15	シンガポール	13,015	11,366	15%
16	スウェーデン	12,619	10,966	15%
17	カナダ	12,485	11,854	5%
18	マレーシア	12,334	9,043	36%
19	オーストリア	12,296	11,070	11%
20	ニュージーランド	12,160	10,898	12%
21	イタリア	11,941	10,137	18%
22	オランダ	11,626	9,954	17%
23	香港	11,542	10,028	15%
24	ドイツ	11,238	10,168	11%
25	フランス	11,086	10,247	8%
26	スペイン	10,963	9,549	15%
27	フィンランド	10,948	9,788	12%
28	台湾	10,909	9,743	12%
29	韓国	10,055	8,951	12%

国内および海外旅行 で支払われた宿泊料 金



イギリス

海外旅行

2013年1月から6月までの海外旅行において、スイス人旅行者の国外での支払額が最も高く、一泊平均17,128円でした。昨年1位だった日本人旅行者は、一泊平均支払額14,740円のノルウェー、16,740円のアメリカに次いで、16,684円で4位となりました。

アジア太平洋地域からは日本以外に2カ国が上位10位内に入り、5位が16,524円のオーストラリア、8位が16,118円の中国でした。中南米からは6位ブラジル、7位アルゼンチンで、平均支払額はそれぞれ16,488円と16,282円。スウェーデンが10位にすべりこみ、15,767円でした。

表内の国籍のうちオランダ人とドイツ人がきわめて堅実的で、平均支払額はそれぞれ12,961円と13,085円で最も低く、次いでスペイン人が13,167円でした。

国内旅行

スイス人旅行者の国内旅行一泊平均支払額が、19,910円とやはり最も高く、続いてノルウェーが18,183円で2位、シンガポールが17,681円で3位でした。

オーストラリアが4位16,377円、上位10位内にはアジア太平洋地域からもう1カ国、香港が平均13,681円で7位でした。ブラジル人が平均宿泊額13,618円の8位で、中南米では国内旅行で最も気前が良いという結果でした。

北欧からはさらにスウェーデンとデンマークが5位と6位で、それぞれ平均宿泊額16,087円と14,773円でした。上位10位の残りはカナダとロシアで、それぞれ一泊13,487円と13,403円でした。

表の最下位、最も手頃な国内旅行を求めているのはまたしてもインド人

で、一泊8,622円、次いで8,899円のポルトガルと8,965円のスペインとなっています。

海外と国内で支払いが多いのは？

分析した29カ国中、25カ国が国内より海外で多く支払っており、中にはそれぞれの合計の差が非常に大きい国もありました。アルゼンチン旅行者は海外旅行で一泊平均6,318円多く支払い、すぐ続いて日本人が6,112円、インド人が5,690円多く支払っています。

海外より国内で多く支払っているのは4カ国のみ。シンガポール人旅行者の差がまたしても最も多く、海外より国内で3,566円多く支払っています。次いでスイス人が2,782円、ノルウェー人1,443円、スウェーデン人はわずか320円の差となっています。一方デンマーク人とフィンランド人は国内旅行でも海外旅行でもほとんど同じ平均宿泊額を支払っています。

表 20
海外および国内旅行で支払われた平均宿泊料金 (通貨:円)

	国名	海外	国内
1	スイス	17,128	19,910
2	ノルウェー	16,740	18,183
3	アメリカ合衆国	16,731	12,515
4	日本	16,684	10,572
5	オーストラリア	16,524	16,377
6	ブラジル	16,488	13,618
7	アルゼンチン	16,282	9,964
8	中国	16,118	10,508
9	イギリス	16,048	12,737
10	スウェーデン	15,767	16,087
11	ニュージーランド	15,673	11,002
12	デンマーク	14,787	14,773
13	コロンビア	14,739	12,616
14	オーストリア	14,502	11,083

	国名	海外	国内
15	メキシコ	14,390	11,811
15	ロシア	14,390	13,403
17	カナダ	14,361	13,487
18	アイルランド	14,337	10,411
19	インド	14,312	8,622
20	ポルトガル	14,229	8,899
21	香港	14,131	13,681
22	シンガポール	14,115	17,681
23	韓国	13,937	12,986
24	イタリア	13,382	10,662
25	フィンランド	13,340	13,311
26	フランス	13,180	10,217
27	スペイン	13,167	8,965
28	ドイツ	13,085	10,891
29	オランダ	12,961	11,777

1泊15,000円で宿泊 できる都市



ワルシャワ

日本から価値ある贅沢な都市型旅行に行きたければ、ポーランドの首都ワルシャワなら、2013年上半期でも平均価格で1泊15,000円以下の5つ星ホテルを検討できたことでしょう。

世界各地の14都市には、平均15,000円以下の4つ星の部屋が幅広くそろっています。ヨーロッパで

はベルリン、ブダペスト、マドリードなど8カ所、アジアではバンコク、北京、上海など5カ所、さらにアメリカではラスベガスが含まれます。

ラインナップが豊富なのは3つ星ホテルで、この金額なら、オーストラリア、ヨーロッパ、中東、アジア、カナダで、東京のほか、ロンドン、香港、ソウルといった人気の場所など、さ

らに20の都市や観光地で泊まることができます。

なおこの金額であれば、マイアミ、パリ、シンガポール、ワシントンD.C.など世界の主要都市の多くで、2つ星ホテルに宿泊できますが、ボストンとニューヨークでは1つ星にしか泊まれません。

表 21 主要都市の一泊15,000円で宿泊できるホテルの星評価 (通貨:円)

都市名	¥15,000	都市名	¥15,000	都市名	¥15,000
ワルシャワ	★★★★★	ドバイ	★★★★	アムステルダム	★★
バンコク	★★★★★	香港	★★★★	バルセロナ	★★
北京	★★★★★	イスタンブール	★★★★	シカゴ	★★
ベルリン	★★★★★	ロンドン	★★★★	ロサンゼルス	★★
ブリュッセル	★★★★★	メルボルン	★★★★	マイアミ	★★
ブダペスト	★★★★★	メキシコシティ	★★★★	モントリオール	★★
デリー	★★★★★	ミラノ	★★★★	パリ	★★
フランクフルト	★★★★★	モスクワ	★★★★	サンフランシスコ	★★
ジャカルタ	★★★★★	ミュンヘン	★★★★	シアトル	★★
ラスベガス	★★★★★	ニース	★★★★	シンガポール	★★
リスボン	★★★★★	オーランド	★★★★	バンクーバー	★★
マドリード	★★★★★	ローマ	★★★★	ベネチア	★★
プラハ	★★★★★	ソウル	★★★★	ワシントンD.C.	★★
上海	★★★★★	シドニー	★★★★	ボストン	★
ウィーン	★★★★★	台北	★★★★	ニューヨーク	★
バリ	★★★★	東京	★★★★		
カンクン	★★★★	トロント	★★★★		

星評価別の平均宿泊料金

HPI算出のためHotels.comは、消費者ができる限り予算を活かせるよう、世界の主要都市における星評価別の平均宿泊料金（通貨：円）を分析しました。例えば5つ星の平均価格は、一泊12,236円という割安なものから、61,924円という高額なものまであります。ちょっとした下調べで大きな節約ができるため、事前の調査は有益です。

5つ星で最高は、61,924円のベネチアで、次いで55,899円のニューヨーク、3位が53,600円のロサンゼルス、4位が49,977円の東京でした。

今まで同様、ワルシャワが5つ星ホテルの中では最も手頃な一泊平均12,236円で、続いてデリーが若干高く18,565円、ブリュッセルが18,699円でした。

ワルシャワはまた、4つ星の中でも平均10,337円と最も低く、ブダペストは10,607円、上海は10,680円でした。東京はこのクラスで競合するのは厳しく、実質的に倍の20,954円でした。しかしそれでも、東京の4つ星ホテルの方が、平均するとニューヨークの3つ星ホテルに泊まるより安くなっています。

表の一番左の列は予算重視の人向けで、2つ星ホテルでも手が届きやすいのは2,792円の上海で、3,107円のバンコク、3,420円のデリーと続きます。これらの料金なら、上海では2つ星で3週間以上宿泊できるのに対し、ベネチアでは5つ星で一泊です。

ヨーロッパでの格安旅行なら、フランクフルトが2つ星で平均4,553円と優勢です。

表 22 2013年上半期の星評価別平均宿泊料金 (通貨:円)

都市名	★★	★★★	★★★★	★★★★★	都市名	★★	★★★	★★★★	★★★★★
アムステルダム	10,441	15,729	19,420	29,164	ミラノ	該当なし	10,493	19,041	49,845
バリ	3,731	7,216	17,809	38,016	モントリオール	11,927	15,361	23,594	該当なし
バンコク	3,107	5,328	10,960	21,940	モスクワ	該当なし	12,788	18,379	31,658
バルセロナ	9,800	14,016	18,372	34,103	ミュンヘン	10,521	11,979	17,100	34,182
北京	3,851	6,529	10,978	19,538	ニューヨーク	16,057	23,530	31,958	55,899
ベルリン	6,596	7,841	12,101	20,001	ニース	該当なし	14,190	26,898	43,701
ボストン	15,004	20,682	27,199	該当なし	オランダ	6,596	13,620	23,585	該当なし
ブリュッセル	該当なし	11,553	14,107	18,699	パリ	10,769	17,747	27,663	47,660
ブダペスト	該当なし	6,791	10,607	19,478	プラハ	該当なし	7,889	11,199	20,817
カンクン	該当なし	13,849	34,065	31,914	ローマ	8,803	13,246	18,973	39,970
シカゴ	10,536	20,851	22,177	該当なし	サンフランシスコ	11,960	20,509	26,418	該当なし
デリー	3,420	5,813	13,212	18,565	シアトル	12,039	18,281	26,447	該当なし
ドバイ	該当なし	9,766	15,133	41,669	ソウル	6,501	10,647	15,053	30,454
フランクフルト	4,553	12,758	14,984	22,900	上海	2,792	6,256	10,680	23,640
香港	6,665	12,622	19,161	40,379	シンガポール	8,249	15,232	22,956	42,215
イスタンブール	該当なし	10,010	15,413	25,823	シドニー	5,380	12,134	19,553	30,770
ジャカルタ	4,945	7,438	12,505	20,037	台北	6,809	10,483	16,140	32,205
ラスベガス	5,687	6,936	11,521	24,703	東京	7,312	10,569	20,954	49,977
リスボン	6,007	10,411	12,287	21,727	トロント	11,444	13,966	22,543	該当なし
ロンドン	9,558	14,318	22,872	42,038	バンクーバー	13,712	15,138	22,835	33,797
ロサンゼルス	10,338	16,997	33,024	53,600	ベネチア	10,633	17,540	27,154	61,924
マドリード	6,486	9,864	12,270	27,179	ウィーン	5,956	9,428	13,306	25,177
メルボルン	該当なし	9,686	15,509	27,955	ワルシャワ	該当なし	7,866	10,337	12,236
メキシコシティ	6,526	10,697	16,978	該当なし	ワシントンD.C.	12,171	19,043	22,231	該当なし
マイアミ	13,625	17,028	27,390	該当なし					

ホテルの星評価について

世界共通の星の格付けシステムは存在しません。各国にはそれぞれのシステムがあり、イギリスのように複数のシステムを持つ国もあります。このため、旅行者は、異なる国の同じ星評価のホテルを予約する際には基準や施設に差のある可能性を承知しておく必要があります。

表 23 5つ星ホテルが最も高い世界
10都市 (通貨:円)

都市名	価格
ベネチア	61,924
ニューヨーク	55,899
ロサンゼルス	53,600
東京	49,977
ミラノ	49,845
パリ	47,660
ニース	43,701
シンガポール	42,215
ロンドン	42,038
ドバイ	41,669

表 24 5つ星の宿泊料金が最も手ごろな
世界10都市 (通貨:円)

都市名	価格
ワルシャワ	12,236
デリー	18,565
ブリュッセル	18,699
ブダペスト	19,478
北京	19,538
ベルリン	20,001
ジャカルタ	20,037
プラハ	20,817
リスボン	21,727
バンコク	21,940

旅行の傾向

日本人旅行者に人気の 外都市

2013年上半期に日本人旅行者に最も人気のあった海外旅行先は、近距離と長距離の都市が混ざり合っています。

ホノルルが1位の座を維持。アメリカからはさらに4都市が上位に入り、ニューヨーク3位、サンフランシスコ12位と順位を維持したものの、ロサンゼルスとラスベガスは順位を落として11位と13位になりました。

新しく加わったのは、アジアからは15位のホーチミン市、ヨーロッパからは20位のフィレンツェの2都市で、サンディエゴ、ミュンヘン、北京が落とされました。

表中のアジアの人気都市7カ所のうち、台北が順位を4つ上げ9位、バンコクが1つ上げ4位になったものの、上海は3つ下げて10位になりました。シンガポールは6位のままでした。

パリがヨーロッパの中では最も人気が高く、1つ順位を下げて5位でした

が、ロンドンオリンピックの翌年で最も順位が上がり、3つ上げ7位。ミラノは2つ下げて17位でした。

外国人旅行者に人気の 国内都市

2013年上半期、外国人旅行者に人気の日本の目的地リストに、新たに加わった目的地はありませんが、リスト内でいくつかの動きがありました。

主要都市である東京、大阪、京都、福岡は、2012年上半期ランキング同様、上位4位を維持しています。

那覇は順位を2つ上げ5位になり、札幌と名古屋の順位を1つずつ押し下げました。神戸と広島の間で最下位が入れ替わりました。

表 25 2013年上半期日本人旅行者に人気の海外都市

順位	都市名	2012年上半期順位
1	ホノルル	1
2	ソウル	2
3	ニューヨーク	3
4	バンコク	5
5	パリ	4
6	シンガポール	6
7	ロンドン	10
8	香港	8
9	台北	13
10	上海	7
11	ロサンゼルス	9
12	サンフランシスコ	12
13	ラスベガス	11
14	ローマ	14
15	ホーチミン市	*
16	バルセロナ	17
17	ミラノ	15
18	ウィーン	18
19	クアラルンプール	20
20	フィレンツェ	*

表 26 2013年上半期外国人旅行者に人気の国内都市

順位	都市名	2012年上半期順位
1	東京	1
2	大阪	2
3	京都	3
4	福岡	4
5	那覇	7
6	札幌	5
7	名古屋	6
8	横浜	8
9	神戸	10
10	広島	9

この章では、Hotels.comが見つけたその他の旅行に関する話題を取り扱います。

中国人海外旅行者の増加

2013年8月、Hotels.comは中国人海外旅行モニター (CITM) 第2版を発行し、中国人海外旅行者の著しい増加の影響および、この急激な成長の流れを享受しようとする世界のホテル市場の反応についてまとめました。本報告書では、ホテル経営者および中国人旅行者のデータを収集・分析し、主な結果を反対側のページに記載しています。

2012年の第1版発行から、中国人旅行者ブームの将来性に注目した多くの国で、このテーマはトップ記事で扱われ続けています。国連世界観光機関によると、中国人旅行者は2012年に世界中の旅行先で1,020億ドルを消費しており、これは2011年の40%増で、ドイツとアメリカを追い抜いて、世界で最もお金を使う国民となっています。

中国はまた、昨年ドイツとアメリカを追い抜き、世界最大の海外旅行市場として確定し、中国観光研究院2013年報告書によると、中国人の海外旅行件数は約8,300万件となっています。

この著しい成長は、主に政府の海外旅行規制緩和および、可処分所得の増えた中国人中流階級の台頭の影響であり、この数カ月間の中国での全体的な経済成長鈍化の影響は受けていないように見受けられます。外国を巡り、新しい体験を楽しみたいという欲求が、依然として強いのです。

CITMが昨年報告した、団体旅行より個人旅行が好まれるという傾向は、今や止まらぬ勢いで、主流となっています。政府はビザ発行に関する仕組みを整える際、これを考慮に入れなければならなくなるでしょう。ホテル経営者は、この点において確信を高めています。というのも、より多くの旅行者が、安全地帯から抜け出し、本物の現地体験をしたが

っているからです。ショッピングは楽しみの1つですが、もはや重要要素ではありません。多くの旅行者が、それよりも観光や食事を楽しむことに主な価値を見出しているからです。

一般的に、ホテル経営者はこの新たな課題にうまく対応していません。Hotels.comのCITMは、とりわけ欧州の従来市場からの旅行が減少している中、この見返りが高いと思われる成長分野の最適な利用方法に関する情報を提供しています。さらにCITMは、とりわけ自国政府に、特に通関手続きに関して、変更過程の迅速化の必要性を政府に働きかけている、旅行業界のその他の関係者にも役立つことでしょう。

レポートの全容は、<http://press.hotels.com/citm/>からダウンロードできます。

サービス

ホテルが中国からのお客様に提供しているサービスTOP5



73%

無料Wi-Fi



43%

ケトル



33%

スリッパ



29%

喫煙室



18%

中国語テレビ

ホテルが中国からのお客様に今後1年で提供予定のサービスTOP5



20%

中国語の
ウェルカムグッズ



19%

中国語対応ホテル
ウェブサイト



16%

中国語の旅行・
観光ガイドブック



15%

中国茶

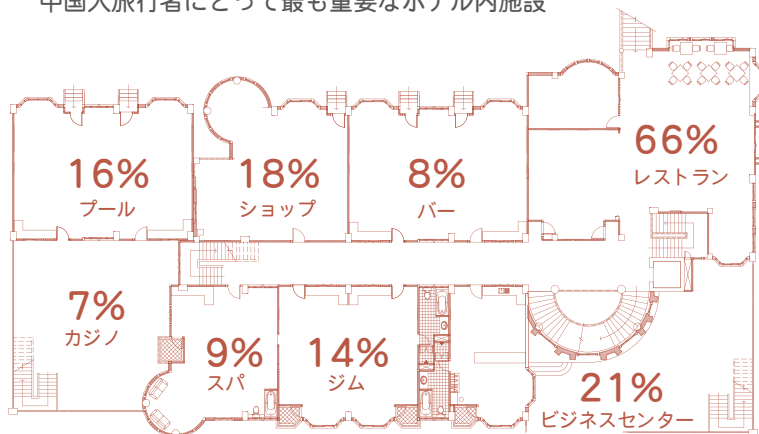


14%

中華料理の朝食

ホテル内人気スポット

中国人旅行者にとって最も重要なホテル内施設



ホテル選びに最も重要な条件



43%

安全性



39%

史跡・
世界遺産地



30%

コスト
パフォーマンス



29%

グルメ



20%

宿泊施設の質



19%

ビザ申請の
しやすさ



19%

気候・天気



17%

ショッピング



16%

現地の季節・
行事イベント



13%

政治情勢



10%

現地の
ホスピタリティ



9%

公共交通機関の
利用しやすさ



9%

清潔さ



4%

空港からの
移動時間



2%

医療施設

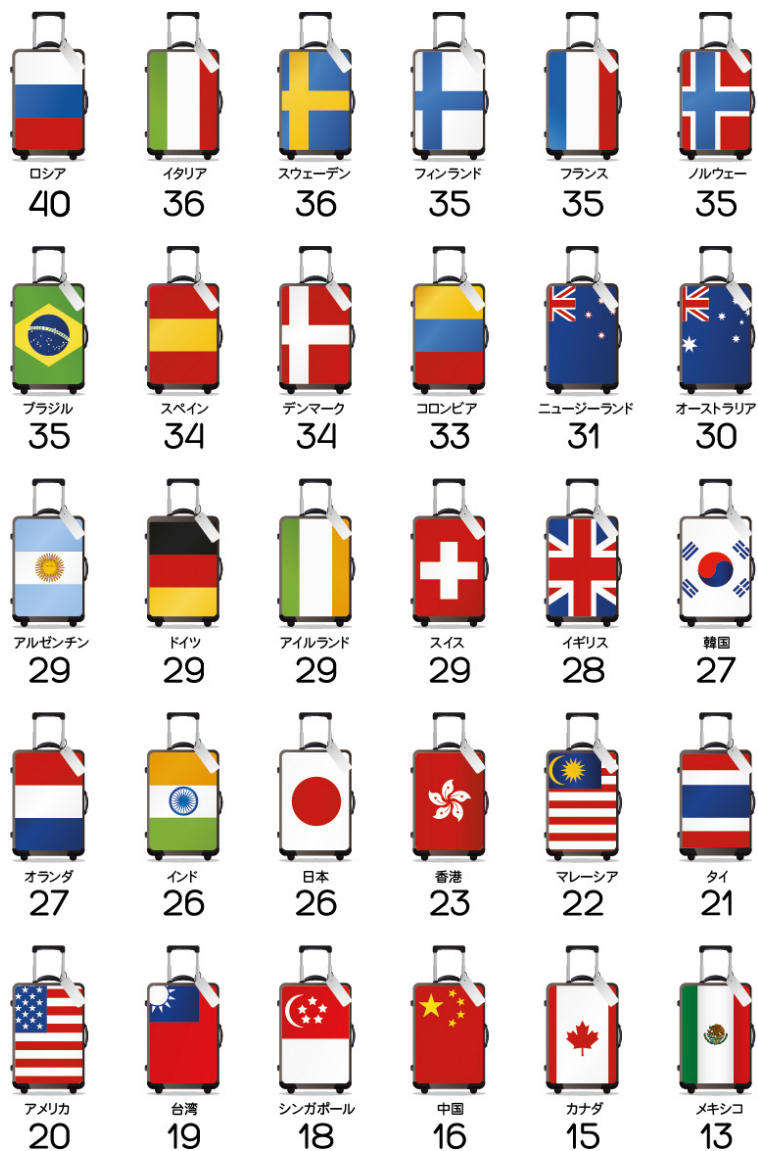
クラブサンドイッチ指数

本調査によりますと、クラブサンドイッチの価格が最も高いのは、昨年度1位のパリを抜いて、ジュネーブ(3,028円)であるということが分かりました。クラブサンドイッチとして定番であるチキン、ベーコン、玉子、レタス、マヨネーズを挟んだサンドイッチは世界各地の「手ごろ」な価格の指標として比較できるものであることから、Hotels.comはClub Sandwich Index(CSI)を作成しました。これにより、旅行者が目的地の物価目安を知ることができます。東京は2,059円で7位の結果になりました。

		2013年 クラブサンド 平均価格(円)	
1	スイス ジュネーブ		3,028円
2	フランス パリ		2,729円
3	ノルウェー オスロ		2,657円
4	スウェーデン ストックホルム		2,299円
5	デンマーク コペンハーゲン		2,221円
6	イタリア - ローマ		2,214円
7	日本 - 東京		2,059円
8	イギリス - ロンドン		2,053円
9	オーストラリア - シドニー		2,042円
10	香港		1,969円
11	フィンランド - ヘルシンキ		1,963円
12	韓国 - ソウル		1,845円
13	アメリカ合衆国 - ニューヨーク		1,742円
14	ロシア - モスクワ		1,657円
15	オランダ - アムステルダム		1,657円

世界の休暇数調査、 第一位はロシア

Hotels.comが発表した調査によると、有給取得日数と公休日（土・日除く）を合わせた休暇日数に世界的な格差があることが明らかになりました。法に定められた有給休暇と公休日の合計日数で比べると、第1位のロシアは年間で40日の休暇がある一方、最下位のメキシコは13日という結果になりました。日本は世界平均（28日）に比べて2日少ないと明らかになりました。



Hotels.com 2013年 上半期のハイライト

2013年上半期、Hotels.comは優れた業績を上げることができました。

2月に、サムスンGalaxy Note 8.0専用の先駆的なモバイルアプリを開発しました。このアプリは、サムスンGalaxy Noteシリーズ全機種にも対応、Galaxy Note 8.0の統合ペン入力技術、Sペンを活かし、ユーザーが、より充実した双方向的な予約ができるようになっていきます。

同月、Byte Level Research社が選ぶ2013年最優秀グローバル・ウェブサイトで、昨年からの順位を3つ上げ、過去最高順位となる、第2位に選ばれました。同社の報告は各ウェブサイトを、グローバルリーチ（言語）、グローバルナビゲーション、グローバル/モバイルアーキテクチャ、ローカライゼーション&社会的取組の4つの基準で分析しています。

3月には、eDigitalResearchによりイギリス最優秀旅行サイトに選ばれました。これは、第一印象から顧客窓口まで、顧客の利用について隔々までユーザー満足度を計るものです。Hotels.comは、清潔感のあるシンプルなホームページ、わかりやすいナビゲーションリンク、幅広い検索フィルタで、首位の座を得ました。

同月、Windows8用のアプリケーションを開発し、Hotels.comのモバイルアプリはAbout.comにより、ホテル&リゾート部門最優秀ホテル予約アプリに選ばれました。その際、投票総数の約半数を獲得し、その他の主要なオンライン旅行会社に勝りました。2011年の提供開始以来合計して、Hotels.comのアプリは2,000万回以上のダウンロードを達成しています。

6月、イギリスのオンライン・リテール・アワード旅行・観光部門で最終候補に残りました。結果は9月発表です。

ロイヤリティプログラムWelcome Rewards®の開始以来、100万件以上の無料宿泊特典*を利用者に提供しています。

ヨーロッパおよびオーストラリア内の13のサイトをはじめとし、当社の多くの海外サイトが、2013年に10周年を迎えています。

*無料宿泊で利用できる金額は、10泊分の平均金額となります。税およびサービス料などは含まれていません。

2,000万

Hotels.comのモバイルアプリダウンロード数

700万

実際にホテルに宿泊した利用者のカスタマーレビュー数

100万

Welcome Rewards会員に贈られた無料宿泊数*

約22万

Expediaグループネットワーク上で予約できる施設数

85以上

世界のローカライズされたHotels.comサイト数

35

言語数

*無料宿泊で利用できる金額は、10泊分の平均金額となります。税およびサービス料などは含まれていません。

HOTELS.COM について

Hotels.comは、最大手のオンライン宿泊予約サイトで、国際ホテルチェーンやオールインクルーシブリゾートから、地元の人気ホテルやB&BまでExpedia®グループネットワーク上世界約22万施設を、理想的な宿泊の予約に必要なあらゆる情報とともに提供しています。

1991年にテレホンサービスとして開始し、2002年にアメリカで最初のウェブサイトが立ち上がり、その後同年にイギリスで最初の国際版がスタートしました。日本のサイトは2004年にまず英語でスタートし、2009年に日本語版が立ち上がっています。今では85以上のHotels.comサイトがヨーロッパ、北米、中南米、アジア太平洋、中東、南アフリカといった世界規模で運営され、そのほとんどがその地域の言語にローカライズされています。

Hotels.comは、業界最大のホテル契約団体のひとつとして、常にサイト上のホテルを増やし、またセール、特別サービス、プロモーションで、利用者のために最適な料金を提供しようと努力しています。お得意様向けのメール配信では、限定割引や

今回のセールのお知らせをお届けしています。実際にホテルに宿泊したユーザーからのサイト上のレビュー数は700万以上あり、利用者が予約時に十分な情報に基づいて選択を行えるようにしています。

どこでも利用できる業界トップのロイヤリティプログラムWelcome Rewardsでは、<http://jp.hotels.com/>に記載の同プログラム利用規約に従い、85,000以上のホテルで宿泊10泊ごとに1泊分の無料宿泊特典が受けられます。開始以降、会員600万以上、100万件以上の無料宿泊特典を提供してきました。

価格保証プログラムでは、支払済みのホテルについてより安い料金を見つけた場合に、<http://jp.hotels.com>に記載の価格保証規約に従い、Hotels.com から利用者に差額が返金されます。

予約はオンラインまたは多言語コールセンターへ連絡することで可能です。携帯電話・スマートフォンやタブレット端末用の専用アプリもhttp://jp.hotels.com/otoku-joho/mobile_jp

からダウンロードでき、2万件の直前割引にアクセスしての外出先からの予約が可能です。

Hotels.comは、世界的に有名なブランドをはじめとする幅広いポートフォリオを有する世界最大のオンライン旅行会社Expediaグループの子会社です。Hotels.comのFacebook、Twitter、YouTubeページもご覧ください。

*無料宿泊で利用できる金額は、10泊分の平均金額となります。税およびサービス料などは含まれていません。

Hotels.com、Welcome Rewards、およびHotels.comロゴはHotels.com、L.P.の商標、または登録商標です。その他の商標はそれぞれ各社の商標です。

©2013 Hotels.com, L.P. All rights reserved. CST#2083949-50

詳細についての お問い合わせ

詳細、マスコミ取材、世界各地の広報担当者に関するお問い合わせは、Hotels.comまでご連絡下さい。

Hotels.com 日本 広報事務局
共同PR内
八代隆行、國時真紀
hotelsteampr@kyodo-pr.co.jp
03-3571-5326

Hotels.com
Zoe Chan (香港)
zchan@hotels.com
+852 3607 5719

Yvonne Bonanati (ロンドン)
press@hotels.co.uk
+44 020 7019 2428

